

京阪・大阪市北東地域の医療機関情報誌

近所ドクター BOOK

地元ドクターの素顔や人柄に接近!

2026 保存版

Take Free

ご自由にお取り下さい

- 医療トピックス
- 地域医療のカタチ
- ドクター対談
- 専門医療にせまる
- ワタシのかかりつけ医

■ HELLOご近所ドクター

特別寄稿 市長・区長からのメッセージ
「地域医療のこれからについて」

この街で見つけよう!
安心・頼れるかかりつけ医

この本を手にとってくださった皆さまへ

よく知らない街で迷ってしまって 誰かに道をたずねようと思ったとき
あなたならどんなひとに声をかけますか？
その街のことをよく知っているのは きっとそこに暮らしているひとです。
ばどに届いた
“地元の病院や先生の情報をもっと知りたい”
そんなたくさんの声から
今年も「ご近所ドクターBOOK」が完成しました。
あなたのことをよく知っているのは きっとあなたの近くにいるひとです。
あなたのからだを守ってくれるのは きっとあなたの近くにいるドクターです。



Contents

4

医療トピックス

独立行政法人 地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター

関西医科大学香里病院

社会福祉法人 恩賜財団
大阪府済生会野江病院

10

地域医療のこれからについて 市長・区長からの メッセージ

13

地域医療のカタチ

市立ひらかた病院

社会医療法人 美杉会 佐藤病院

パナソニック健康保険組合 松下記念病院

21

ドクター対談

関西医科大学附属病院

関西医科大学くずは病院

関西医科大学香里病院

29

専門医療にせまる 病院・医院編

関西医科大学総合医療センター
上部消化管外科

関西医科大学総合医療センター
脳神経外科

35

ワタシのかかりつけ医

医療法人御殿山 福田総合病院

39

Hello ご近所ドクター 歯科医院編

医療法人育歩会 坂井歯科医院

医療法人育歩会 坂井歯科医院
香里園かほりまち歯科

42

ご近所ドクターガイド

47

夜間&休日の救急連絡先



2026年3月27日発行

編集・発行／株式会社関西ばど 北大阪営業部
〒572-0048 寝屋川市大利町10-10 小林ビル1F
TEL 072-827-0810

取材／株式会社スターファクトリー

【(株)関西ばどがドクターブック誌面において取得する個人情報の取り扱い】

①(株)関西ばどがドクターブック誌面において個人情報を取得する場合、あらかじめその利用目的を自社広告内または取得フォーム内に明記し、その目的の範囲内に限定して利用いたします。②お預かりした個人情報は、ご本人の事前の承諾なく、第三者に提供することはありません。③提供が予定される場合には、あらかじめ、第三者に提供する目的・提供する個人情報の項目・提供の手段又は方法・当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類及び属性・個人情報の取り扱いに関する契約がある場合はその旨を自社広告内または取得フォーム内に明記いたします。④お預かりした個人情報について、その利用目的の範囲内において、個人情報の保護に関する当社の基準を満たす企業・個人に、取り扱いを委託する場合があります。⑤当社が保有する個人情報の基準について、ご本人から開示・訂正・追加・削除・利用停止のお申し出があった場合、適切に対応いたします。⑥当社への個人情報のご提供はご本人の任意ですが、ご提供いただけない場合、あらかじめ明示した目的を達成できない場合があります。⑦当社の個人情報の取り扱いに関する苦情・相談その他お問合せは、下記窓口までご連絡下さい。

個人情報保護管理責任者／経営戦略部長
個人情報に関する問合せ窓口／TEL.06-6479-3113(受付/平日9:30~18:00)

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

人工関節センター

関節疾患は「要支援」の状態になる原因疾患として上位に位置しており、健康寿命延伸のためにも対応は急務とされている。星ヶ丘医療センターでは、高まる治療のニーズに応えるべく人工関節センターを開設した。

センター開設の背景

「股関節・膝関節・足関節は日常動作を支える重要な関節で、そこに痛みを抱えることは健康寿命に直結します。当院では、地域の皆様に長く健康に暮らしていただけるよう、専門医を集集して人工関節センターを開設しました。股、膝に加えて、専門とする医師が少ない足関節の治療にも対応しているため、痛みにお困りの方はご相談いただければと思います」と、細野院長はセンター開設の思いを語ってくれた。

股・膝・足などの関節の痛みに対し
専門医が集結して治療を行う

阿部 裕仁

人工関節センター長・整形外科部長

柵座 康夫

整形外科部長



病診連携がよりスムーズになるよう開業医の先生を対象としたセミナーを開催し、少しでも多くの方が治療を受けられるよう取組んでいる

対応疾患と治療の詳細

同センターではどのような治療が受けられるのか、股関節治療を専門とするセンター長の阿部先生と、膝関節と関節リウマチを専門とする梶原先生に詳しくお話をうかがった。「最も多く診療を行っている股関節疾患は変形性股関節症です。初期の段階では手術をせずに体重を減らし、筋肉を鍛えることで関節への負担を減らしたり、薬で痛みを抑えたりする保存治療を行います。症状が長期化し、痛みが耐えられなくなった場合に人工関節手術を検討します。股関節を金属に置き換えると、金属に神経は通っていないため動いても痛みが発生せず、リハビリを行うことで可動域の改善

が期待できます。当院では手術前にCTを撮影し、たくさんあるインプラントの中から最適なものを選択して、ナビゲーションシステムを用いて正確な位置にインプラントを設置することを心がけています」と阿部先生。「膝に関しては、変形性膝関節症や関節リウマチを中心に治療を行っています。股関節同様保存治療から始まり、手術が必要な場合には関節を温存する骨切り術、そして人工関節手術と患者さんの状況に合わせて治療を行います。膝の人工関節手術では、骨を切る角度が僅かに変わるだけでも機能面に影響が発生するため、ナビゲーションシステムを用いて精密にインプラントを設置するようにしています」と、梶原先生は解説してくれました。

健康寿命を延ばすために

「近年インプラントの機能は向上し、ゴルフや水泳、卓球などができるとまで回復する方も多く、アクティビティを楽しみたい患者さんのご要望に沿った手術が可能になってきています。健康寿命を延ばすために、痛みを我慢せずご相談いただければと思います」と阿部先生。梶原先生は「当院ではリハビリに力を入れており、患者さんの生活様式に合わせて、回復期病棟で長期的なりハビリを受けていただくこともできます。また術前と術後の歩行機能を解析し、リハビリに役立てる試みも行っていますので、不安なく治療を受けていただけるのではと考えています」と、それぞれ患者さんにメッセージを残してくれました。

人工関節センターを知ろう!

チームで人工関節治療に取り組む



日本整形外科学会認定整形外科専門医が4名勤務し、股関節・膝関節・足関節の人工関節手術に対応。手術をサポートする看護師も人工関節手術の経験が豊富で、患者さんの精神的・身体的負担を減らすことができる。また、内科、リハビリテーション部、薬剤師、管理栄養士なども協力しあい、患者さんを多角的にサポートする体制が整っている

センターで取扱う手術



人工股関節置換術

変形性股関節症や関節リウマチにより破壊された股関節を人工関節に置き換える手術。ナビゲーションシステムを用いて手術することで、手術後に発生する脱臼のリスクを抑えることができる



人工膝関節置換術

損傷した膝関節を人工関節に置き換え、激しい痛みや変形を改善する手術。加齢や肥満が原因で膝関節がすり減ることが多く、日本全体で年間約10万人がこの手術を受けている



人工足関節置換術

変形性足関節症や関節リウマチにより傷ついた足関節を人工関節に置き換える手術。膝や股関節と比べて対応する医療機関が少なく症例数は少ないが、治療のニーズは高い



人工関節手術の手術風景。手術時には多くの粉塵が発生するが、手術はクリーンルームで行われるため清潔に保たれ、術後の感染症リスクは最小限に抑えられる



CTデータをナビゲーションシステムに取り込み、患者さんに合わせた三次元術前計画を立てる阿部先生。この手順を行うことで、より正確な手術を行うことが可能になる

関西医科大学香里病院

乳腺センター

女性が罹患するがんの中で、常に上位に位置する乳がん。関西医科大学香里病院では乳腺センターを設置して、多角的な診療を試みている。その詳細について、センター長である綿谷教授にインタビューを行った。

センター化の経緯

2021年春に開設した乳腺センター。開設の経緯を綿谷センター長にうかがった。「近年乳がん診療は著しく発展していますが、その一方で治療は複雑化し、より高い専門性が必要となってきました。また、乳がん診療は予防、診断、治療、経過観察、そして時には再発治療と、とても長い時間を必要とします。そうした背景から患者さんをより手厚く診療できるように、多職種が連携して診療するセンター化を行いました」。

乳がんや乳腺疾患に悩む方を
多職種連携で手厚く診療

PROFILE

綿谷 正弘 センター長



トモシンセシス(3D撮影)が可能なマンモグラフィ撮影装置を導入。微細石灰化病変の検出が容易で、乳がんの早期発見に役立つ

包括的な乳がん診療

乳腺センターでは乳がんを中心に乳腺疾患全般を診療しており、病気の診断・治療を容易とする最新の検査機器が導入されている。「乳がんは早期に発見することができれば根治できる可能性が高く、発見が早いほど治療による身体の負担を軽減できることが多いです。そのため当院では早期発見を重視し、寝屋川市と四條畷市の乳がん検診に対応しています。検診で異常が見つかった場合には速やかに二次検診に移り、針生検やトモシンセシス(3Dマンモグラフィ検査)と呼ばれる断層撮影検査を行います。トモシンセシスは従来の検査よりも小さな病変を発見しや

すく、病変の識別に有用です」と、綿谷センター長は解説してくれた。

そして、乳がんが見つかってしまった場合には、多職種でカンファレンスを行い最適な治療を模索してくれるという。「当院では可能な限り低侵襲な治療を行うことを重視しており、腫瘍の大きさが1.5センチ以下の方であれば、乳房にメスを入れないラジオ波焼灼術という手術を検討し、乳房の切除がどうしても必要な場合には、形成外科との協力で乳房再建を試みます。また近年薬物療法の発展が目覚ましく、当院でも化学療法センターと連携して専門知識を持った薬剤師・認定看護師を中心とした医療スタッフとともに薬物治療を行うことが可能です」。

自分の乳房に関心を持つ

現在乳がんは日本人女性の九人に一人が発症する病気で確実に増加傾向である。他人事ではなく誰もが発症しうる病気であり、定期的に検査を受けることが望ましい。綿谷センター長は最後にこうメッセージを残してくれた。「何よりもまず、ご自身の乳房に関心を持っていただくことが大切です。普段から気にかけていれば時々乳房を触ってみて、しこりがあるかどうかに気づくことができます。『高齢になると乳がんにならないのでは』という声をよく聞きますが、ご高齢の方の乳がんは増える傾向にあります。ぜひいつまでもご自身の乳房に関心を持っていただけると幸いです」。

乳腺センターを知ろう!

複数の職種と診療科が連携



乳腺センターでは幅広い治療に対応するため、乳腺外科、形成外科、放射線科、化学療法センターなどが協力して診療にあたっている。職種も医師だけでなく看護師や薬剤師、放射線技師、理学療法士などが協力し合い、それぞれが専門性を発揮して、一人の患者さんを徹底的にサポート。不安なことがあればスタッフが親身に相談にのってくれる

それぞれの職種の役割



放射線技師:画像診断を担当マンモグラフィ検査を行う

マンモグラフィや超音波検査などで画像診断検査を実施。患者さんへの説明や、検査に不安を抱える方へのケアをしつつ、被ばく管理も行う



薬剤師:厳格な管理と正確な調製で、がん化学療法をサポート

薬剤師の立場からレジメンや検査データを確認し、医師の指示に基づき抗がん剤を正確かつ無菌的に調製。専門知識を活かした管理体制で、安全な治療環境をサポートする



手術スタッフ(看護師):術前から術後まで患者さんをケア

手術中に医師の補助をするだけでなく、術前から術後まで患者さんに寄り添って心身をサポート。患者さんが治療を乗り越えられるように最善を尽くす



ラジオ波焼灼術で用いる治療装置。この手術では腫瘍を摘出せず、体外から針を指して電流で腫瘍を焼くため、乳房の切開を行わずに治療することができる



日本乳癌学会専門医・指導医である綿谷センター長は、幅広い乳がん治療に対応可能。「少しでも気になることがあれば、気兼ねなく受診してほしい」と語る

社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会野江病院

手術支援ロボット

変形性膝関節症やリウマチなどの治療として行われる人工関節置換術において、大阪府済生会野江病院では最新鋭の手術支援ロボットが活躍している。その有用性についてお話をうかがった。

最新鋭の支援ロボット

大阪府済生会野江病院の整形外科では、人工関節置換術支援ロボットの第二世代機種を導入した。近畿圏ではまだめずらしい新しい機種だ。すでに多くの病院で使われている第一世代には機械がメスを入れるためのロボットアームが付いているが、新しい第二世代はロボットアームがない。あくまで医師による執刀を画像等によりナビゲートする、サポートに特化した機種だ。



人工関節置換術支援ロボット「CORIサージカルシステム」。高度な画像処理とデータ解析で、医師による手術をサポートしてくれる

リアルタイムの情報
が導く
より正確な人工
膝関節置換術

PROFILE

柴田 弘太郎 ロバーツ 整形外科・リハビリテーション科部長



整形外科の手術を知ろう!

数・種類ともに豊富な手術実績



大阪府済生会野江病院の整形外科では、年間約900例の手術を行っている。うち450から500例は外傷の手術で、残りは膝・股関節、脊椎、肩関節といった専門性の高い手術が占める。各種手術に必要な最新鋭の医療機器を導入し、手術のクオリティを維持しながら、救急から慢性疾患まで幅広く対応し、地域医療を支えている(受診時は紹介状が必要)

最新鋭の機器が手術を支援



牽引台で体を固定し 筋肉の隙間をつくる

人工股関節置換術のAMISで使用される牽引台。筋肉と腱の隙間からメスを入れやすいよう、適度な角度で体を牽引し、固定する役割を果たす



地図のように映し導く 脊椎手術ナビゲーション

脊椎の画像を映し出し、スクリーンなどの手術器具の現在地をカーナビのように追跡してリアルタイムに表示。手術を安全かつ正確に導いてくれる



その場で撮影できる 脊椎手術の術中CT

手術の場でCT画像を撮影できる機器。脊椎手術ナビゲーションと合わせて使用することで、不確定要素を排した正確で低侵襲な手術を実現する

人工膝関節手術で良好な術後成績を得るには、人工関節の設置角度や位置が最も重要な要素となるため、医師は手術前に綿密に術前計画を行っている。しかし実際に手術の場になると、手術中にか知り得ない脚の靭帯バランスや骨の三次元的な変形角度などがある。従来の手術では術者がこれらを計算し、経験で調整を加えながら手術を行っていた。このため術者により手術成績にばらつきが出る恐れがあった。しかし手術支援ロボットは術中のリアルタイムの画像を投影することで、実際の状況に合わせた適切な骨切りをガイドしてくれる。「骨切りのラインや角度

経験則を排して正確に

をミリ単位で調整できるだけでなく、靭帯のテンションも計測できるので、手術が格段に正確になりました。またガイド通り手術ができていくか計測する機能もあり、術者としても安心です。支援ロボットがあれば、術者を問わず手術の結果を高いレベルで均てん化できると言えるでしょう」。2025年6月の導入以来、全例が支援ロボット下による手術になっているそう。第一世代の機種では、準備が煩雑で時間がかかるため使用を制限するケースがあったり、手術時間の延長により合併症のリスクもあったが、第二世代は準備時間も手術時間も短いため全例に適用でき、合併症のリスクが低いというメリットもある。

低侵襲で回復が早い手術

股関節の人工関節置換術には、患者にとってメリットの大きい術式を導入している。「AMIS(最小侵襲前方侵入法)といって、従来は切っていた筋肉や腱を温存し、筋間からアプローチして神経にも配慮する術式です。以前は3週間ほどの入院期間でしたが、AMISなら10日から2週間、なかには5日で退院できる方もいます」。離床が早いほど身体機能の回復も早い。長く動けないと運動器、内臓機能が低下し、認知症のリスクにもつながる高齢者にとって、非常にメリットの大きい術式だ。正確かつ低侵襲な膝関節・股関節手術で、活動的・健康的な生活を取戻せるだろう。



第一世代ではメーカーのスタッフの同席を要したり、機器のセッティングに時間がかかったりと煩雑だったが、新機種は簡易なため、全例の手術で使用されている



位置測定システムにより手術中のリアルタイムなデータを計測。人それぞれ異なる体型、身体的状況に合わせて、精密な手術計画を立てることができる

2026年 市長・区長からの メッセージ

現在の医療現場が抱える問題、それに立ち向かう行政のあり方や、今後の対策、取り組みについて、9人の市長・区長にうかがいました。



八幡市

八幡市長
川田 翔子

『健幸のまち やわた』の推進にむけて

八幡市におきましては、少子超高齢化の進展により、高齢化率は全国及び京都府平均を上回る 32%に達しております。今後も高齢化率は更なる進行が予測されており、社会保障費の増大は大きな懸念となっております。

このような状況を受け、本市においては「ゼロ次予防」という考え方に則り、健康、介護予防施策に取り組んでおります。ゼロ次予防とは、病気を健康のことを考えなくても、自然と健康的な行動や生活習慣ができるように、地域や社会を整えるという考え方です。

具体的な取組としては、本市の健康づくりの代表的な施策である「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」は、健康無関心層を含む多数の市民が参加できる、歩くことを中心とした健康づくりを目的とした事業で、令和

元年度に事業を開始して以降、着実に参加者は増え続け、令和5年度の医療・介護給付費において、約3.3億円の抑制効果が確認できております。

また公共交通の充実、人が集う空間づくり等の「まとづくり」が健康無関心層の健康づくりに寄与できる可能性にも着目し、現在、市直営のコミュニティバス路線の再編にあわせ、「モビリティハブ」の整備を検討しております。高齢者に配慮した「乗りやすく・待ちやすい」交通環境の実現のため、移動支援と健康・学び・交流を統合した複合型拠点の創出を目指しています。

今後も『誰もが「健康」で「幸せ」に暮らし続けられるまち・やわた』の基本理念の推進に向け、取り組みを進めてまいります。



京田辺市

京田辺市長
上村 崇

いつまでも健やかに暮らせるまちを目指して

京田辺市は、甘南備山や木津川など豊かな自然に恵まれ、また京都、大阪、奈良の三大都市へのアクセスにも優れていることから、子育てしやすく若い世代にも選ばれる魅力あるまちとして発展しています。

本市では、これまでも「健幸」をキーワードに水辺の散策路や親子体操教室など、部局横断的な取組を進めてきました。

令和8年度は「第4次総合計画中期まちづくりプラン」の折り返しの年になることから、重点プロジェクトを中心に、計画に掲げる事業を着実に進め、これまで以上に市民の皆さんが生涯を通じて心身ともに健康に暮らすことができる環境づくりに取り組んでまいります。

特に健康づくりでは、市民ニーズや今後の人口動態を見据え、「健康増進

計画・食育推進計画」の中間見直しに着手し、誰もがいつまでもいきいきと活躍できるよう、健康寿命の延伸と生活習慣病の予防、社会的な生活を営むための機能の維持と向上のための体制を整備してまいります。また、市民の皆さんの健康の維持や向上に向け、妊婦のRSウイルス母子免疫ワクチン接種、高齢者向けのインフルエンザワクチン接種をはじめとする各種予防接種や検診事業の周知と受診率の向上にも取り組んでまいります。

今後も行政と医師会、歯科医師会、薬剤師会そして市内医療機関等との連携を密に図りながら、社会情勢とともに変化する地域医療ニーズや市民ニーズを的確に捉え、みんなが住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けられるまちを目指してまいります。



交野市

交野市長
山本 景

みんなのところが和むまち かのへ

地域医療を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。交野市では、令和7年に逆に100人以上人口が増えました。そうした中、災害医療や救急医療、在宅医療の分野では、地域全体で支えあう体制づくりが求められています。一方で、大阪府では、超高齢化社会・人口減少社会が進む中、変化する医療ニーズに切れ目なく対応するため、第8次大阪府医療計画に沿った医療体制の整備を進めています。本市を含む北河内二次医療圏においても、地域の実情を踏まえた医療体制の確保に努めており、今後予想される新型コロナウイルス感染症に続く新たな感染症の流行や、南海トラフ巨大地震等の大規模災害発生時の対応については、これまでの教訓を生かした平時からの備えが重要であり、市民の皆様

が有事に安心して医療の提供を受けられるよう、ソフト面でも医療体制の整備を進めているところです。また、在宅医療を含めた地域における医療連携の推進も急務であり、医師会をはじめ歯科医師会、薬剤師会、介護・福祉関係者など、多職種が顔の見える関係でつながる多職種連携を進めて参りました。医療と介護、福祉、子育て支援が切れ目なくつながることで、こどもから高齢者まで、誰一人取り残さない地域づくりを目指しています。本市では、引き続き「みんなのところが和むまち かのへ」をスローガンに、すべての世代が安心して住み続けられるまちを目指してまいります。



門真市

門真市長
宮本 一孝

PHRデータに基づく健康医療サービスの提供

2025年大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、医療・ヘルスケアの分野でも多くの先進的な取り組みが行われました。

「大阪ヘルスケアパビリオン」では、「カラダ測定ポッド」で取得した多項目のパーソナルヘルスレコード（PHR）データを基に25年後の「ミライの自分」アバターを生成し、生活習慣を改善することによって「REBORN」をめざす体験型プログラムが、話題になりました。

このプログラムで示されたように、将来における医療体制においては、PHRを基盤とした予防・健康増進が1つの鍵となると考えられており、個人が主体的にデータを管理・共有することで、健康意識の向上や行動変容を促すとともに、より効果的な医療連携が期待され

ます。本市におきましても令和7年1月にPHRサービス「かどまアプリ」の運用を開始いたしました。「かどまアプリ」では、個人の健康情報、服薬情報、バイタル情報、食事管理、栄養分析などの情報を一元的に管理し、生活習慣や健康状態、医療に関する一連の情報を蓄積、閲覧できるようになり、医療機関や、薬局、介護施設等における情報連携により、課題に即した適切な健康医療サービスの提供を可能とするものであります。

大阪・関西万博のレガシーともいえる医療・ヘルスケア分野の新技術の実装を通して、市民の皆様がより健康で充実した生活を送られるよう、引き続き「かどまアプリ」の普及に取り組むとともに、地域医療体制の充実をめざしてまいります。



枚方市

枚方市長
伏見 隆

救急・災害医療に強いまち ひらかた

近年、気候変動の影響もあり、地震や豪雨、豪雪などの自然災害が全国各地で相次いでいます。私たちの想像を超える災害が毎年のように発生する中、市民の皆様生命と健康を守り抜くことは、市政に課せられた重要な使命であると認識しております。

このような中、本市では高齢者や障害者の方など、避難生活で特別な配慮が必要な「要配慮者」の皆様の場合を確保するための取り組みを進めています。要配慮者が一般避難所を経由せず、直接避難できる福祉避難所の増設に向け、補助金を創設し、社会福祉施設等に協力要請を行っています。また令和7年7月7日には枚方市保健所を移転し、市立ひらかた病院や枚方市医師会館に隣接している立地を生かして、平時はもとより災害

時においても健康危機管理の拠点となり、中核を担うことのできる体制を整えました。あらゆる事態を想定し、市内災害協力病院等との連携訓練を重ねることで、迅速かつ的確な医療救護活動が行えるよう対応力の向上と体制の強化に努めています。

また、本市は初期救急から高度救命までをカバーする医療体制が整っていることも大きな強みです。休日・夜間等においても、初期・二次・三次の各救急医療機関で、病状の程度に応じた適切な医療を受けていただけます。

今後も、関係機関との連携を一層強化し、災害対策の充実はもちろんのこと、健康づくりや、介護予防の推進にも取り組みながら、誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりを進めてまいります。



寝屋川市

寝屋川市長
広瀬 慶輔

2040年に向けた地域医療連携について

当市の高齢化率は、令和6年度に30.3%に達し、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年（令和22年度）には、37.4%と予測されています。これは「超高齢社会」の指標である21%を遥かに上回ります。

この「2040年問題」は、医療や介護の需要が増加する一方で、現役世代が減少する社会構造の転換にあります。

市民の皆様が医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で切れ目なく医療・介護を受け続けられる体制、「地域医療連携」の強化は、当市にとって優先課題の一つであります。

こうした状況に対し、本市では令和6年度「地域医療連携」の強化を図るため、（一社）寝屋川市医師会に「在宅医療に必要な連携を担う拠点」が設置されました。

医師会の拠点を中心に、病院・診療所・薬局・訪問看護、介護、福祉事業所・行政などの関係機関が一体となり、在宅医療連携体制の構築を行う仕組みを整えております。

特に在宅医療の現場におきましては、市内9つの医療機関に「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」を担っていただいております。医師会の拠点と緊密に連携することで、「スムーズな退院支援」「日常の療養支援」「急変時の迅速な対応」「看取り」の4つの機能を柱とした医療提供体制の更なる充実を図っております。

今後も、多職種連携の強化や迅速な情報共有を推進し、「地域医療連携」の充実にも全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましてはより一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



鶴見区

鶴見区長
内田 忠憲

だれもが自分らしく安心して共に暮らし続けられるまちづくり

高齢化がますます進む中、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、住まい、生活支援、介護予防などが一体的に提供される地域づくりである「地域包括ケアシステム」の構築が一層、重要となっています。

そこで、鶴見区では「地域保健福祉ビジョン」のもと、地域の相談窓口である「つなげ隊」や地域有償ボランティア活動「あいまち」の認知度向上のほか、相談支援機関・地域・行政が一体的に参画している総合的な支援調整の場（つながる場）の開催を通して、複合的な課題を抱えた方の支援等に取り組んでいます。

合わせて、在宅医療・介護連携推進事業では、関係機関が日頃から顔の見える関係を築き、必要な情報を共有し、多職種間での事例検討・研修な

どを通して連携を深めています。また、認知症の理解に向けた周知も大切なことから、鶴見区の三師会や福祉関係者、行政等で構成する「つるりつぷネット」では、認知症や人生会議に関する講演会や研修会を開催し、医療や介護、認知症等に関する正しい知識と理解の普及啓発を進めています。

一方、地域において、地域活動の担い手の皆様に運営いただいている「いきいき百歳体操」等の取組みにつきましては、介護予防のための運動機会としてだけでなく、安否確認や交流の場としても定着しています。

引き続き、地域と行政、関係機関が協働して取組みを進めてまいります。皆様にはご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



城東区

城東区長
吉村 悟

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して

城東区は、城北川や寝屋川など多くの河川に囲まれた自然豊かなまちで、昨年9月には大阪公立大学森之宮キャンパスが開学するなどの再開発、交通網の充実などにより利便性が高まる一方で、認知症や単身高齢者の増加、地域のつながりの希薄化、孤独孤立化への対策など、さまざまな課題にも直面しております。

こうした複雑化・多様化する福祉や医療の課題に的確に対応していくためには、地域が支え合い、医療・介護などの支援やサービスの包括的に提供できる仕組みや体制の構築が重要となります。

城東区では、「住んでよかったと思えるまち」「地域が支え合い、住み慣れた場所で安心して暮らせるまち」の実現をめざし、令和7年4月に改訂した「城東区地域福祉プラン」や「城東区健康増進プ

ラン」などに基づき、保健福祉施策を推進しております。

また、「在宅医療・介護連携推進会議」を定期的に開催し、医療・介護・福祉関係者が「顔の見える関係」を築きながら、切れ目のない支援が届く体制づくりを目指すとともに、百歳体操をはじめとする介護予防の普及、認知症対策、生活習慣病の予防や食生活改善など、地域の皆さまとともに健康寿命の延伸にも取り組んでいます。

今後も医療・福祉関係機関の皆さまと緊密に連携し、いつまでも住み慣れた地域で、健康に安心して暮らし続けることができるよう、地域の実情に即した支援体制の充実にも努めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



旭区

旭区長
福岡 弘高

地域医療との連携

～「かかりつけ医」で支える旭区～

旭区では、医師会・歯科医師会・薬剤師会をはじめとする関係機関と連携し、区民の皆さまが身近な地域で安心して相談・受診できる医療体制の整備と健康づくりを進めています。また、災害や感染症の流行など、健康に影響を及ぼす事象に備え、平時からのつながりと情報共有が命と暮らしを守る礎となることから、会議や研修等を通じて顔の見える関係づくりを推進し、連携体制の強化に取り組んでいます。

近年では、少子高齢化や暮らし方の多様化により、日常の健康管理から受診・療養まで切れ目なく支える体制の重要性が一層高まっています。

こうした中、安心して住み続けられ

るまちの実現には、健康状態を把握し、気軽に相談できる「かかりつけ医」の存在が欠かせません。かかりつけ医を持つことで、体調変化の早期把握や重症化予防、適切な受診につながるほか、必要に応じて専門の医療機関の紹介や介護・福祉等の支援へ円滑につながります。

いざという時に相談先が明確であることは、区民の皆さまの安心にも直結します。

これからも、区民の皆さまが住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるよう、「かかりつけ医」を持つことの大切さを広くお伝えするとともに、地域医療と健康づくりの連携を一層推進してまいります。



都島区

都島区長
藤岡 慶子

人がつながり、いきいきと暮らせるまち都島区をめざして

都島区では、今まさに「都島区将来ビジョン2030」策定したところで、「人がつながり、いきいきと暮らせるまち」をめざして様々な施策を展開してまいります。

また「第3期都島区地域福祉ビジョン」を策定しており、「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」に取り組んでいます。地域や関係機関の皆様とともに、気にかける・つながる・支え合う地域づくりを進めるとともに、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に努めています。

特に、都島区では医療関係者・福祉関係者・行政機関等が参画した「都島区在宅医療・介護連携推進協議会」を設置し、重度で要介護状態になっても住み慣れた地域で自分ら

しい暮らしを人生の最期まで続けるよう、医療機関や介護施設と連携しながら、人生会議の普及に積極的に取り組んでいます。

都島区内の医療関係者等多くの専門職の方々とともに「もしもの時に伝えたいこと」(冊子)を作成し、「もしもの時に備え、医療やケアなどを含め、自分のこと、思いや希望を家族や周囲の人たちに伝える支援を特に力を入れて活動を展開しています。さらに、緊急入院などに備えて、緊急時連絡先などを記入できる携帯用の「もしもの時に伝えるシート」の普及啓発にも取り組んでいます。

「都島区将来ビジョン2030」の実現に向け、様々な区政を推進してまいりますので、これまで以上に皆様のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

地域医療のカタチ

- P.14 北河内唯一の公立病院として どんな時も常に最前線で 枚方市民のために尽くす
市立ひらかた病院
林 道廣 病院長
- P.16 地域住民に寄り添い 介護医療院を開設し 医療機能も強化
社会医療法人 美杉会 **佐藤病院**
河合 泰博 院長
- P.18 守口市・門真市と 包括連携協定を結び さらなる地域貢献を目指す
パナソニック健康保険組合 **松下記念病院**
村田 博昭 病院長



地域医療のかたち

枚方市禁野本町

北河内唯一の公立病院として
どんな時も常に最前線で
枚方市民のために尽くす

枚方市を含む北河内地域において唯一の公立総合病院である、市立ひらかた病院。人口約112万人の医療圏の要となる公立病院の役割と責務、そして同院のあるべき姿について林病院長にお話をうかがった。

PROFILE

市立ひらかた病院

林 道廣 病院長

公立病院としての役割

救急・感染・災害など どんな時も最前線に立つ

「市立ひらかた病院があるから、
枚方で安心して暮らせる。どんな時
も頼りにされるのが、枚方市の中核
を担う当院の務めです」と開口一番
に話すのは、2019年の就任以
来、地域に根ざした公立病院とし
て住民との信頼関係を大切にする
林病院長である。同院は北河内唯一
の公立総合病院であり、市民の安
心・安全な医療を提供するため、
様々な役割を担い、数々のシーンの
最前線に立つ。現在、24の診療科を
設け、幅広い疾患に常時対応できる
体制を整えつつ、なかでも救急医療
に関しては「二次救急指定医療機
関」として地域にとって欠かせない
存在となっている。「当院では『断ら
ない医療』を合言葉に急性期に対
応しています。日々多くの救急搬送
を受け入れ、救急の応需率は目標と



1.災害医療訓練を毎年実施し、「災害医療センター」として
大規模災害に備える 2.特定行為研修を終えた看護師。
人材育成に努め、チーム医療の向上を目指す 3.広報誌
「かわせみ」に続き、新たな市民向け広報誌「ほっと」を発刊

する90%を超えるほど。2022
年には北河内で唯一「大阪府小児
地域医療センター」の指定を受け、
感染症や熱性けいれん、てんかんな
どで救急搬送されるお子様に対し
て、24時間365日体制で対応し
ています。地域の高齢化が進むな
か、安心して子育てができる環境
を整えることが、地域の未来につ
ながっていくと期待しています」。

今あるべき医療を提供し、未来に
あるべき社会を創造する。そんな
地域医療の核であり砦となる同院
は、地域全体を脅かす有事の際も
価値を発揮。「第2種感染症指定
医療機関」としてコロナをはじめ、
新興・再興感染症を含む様々な感
染症に対応。今後予想される南海
トラフでは災害医療の拠点となる
「枚方市災害医療センター」の機能
を発揮してくれる。「今後も枚方
市にお住まいの皆さんの命の安全
を守り続ける病院として、地域の
未来を見据えた改革を進めてまい
ります」。

医療の最前線を強化

多種多様な資格を有する コメディカルスタッフが活躍

今後何十年と地域に寄り添
うためには、患者からの信頼が欠か
せない。そこで病院長が取り組むのが
最前線の強化である。「安心して
受診できるかどうか。その点では
医師の数と比べると何倍も多く、
患者さんとの接点・距離が最も近い
看護師やリハビリスタッフなどコメ
ディカルの質がカギとなります。一
人ひとりが使命とやりがいを持って
働き続けられる職場環境の下、
各々が日々専門性を磨いていま
す」。同院では充実の育成プログラ
ムで看護師を育成するほか、認定
看護師や特定行為看護師の資格
取得に向けた教育支援を行い、キャ
リアップも支援。実際に現場で
は、救急看護認定看護師、がん薬
物療法看護認定看護師、感染管理
認定看護師など様々な看護師が活
躍中だ。また、看護師以外のコメ
ディカルスタッフに対しても資格取
得を積極的にバックアップし、チ
ーム医療の強化につながっている。「あ
りがたいことに当院はモチベシヨ
ンの高いスタッフに恵まれ、各部署
では病院の質を高めるためのプロ
ジェクトチームが発足するほどで
す。一丸となって進める病院づくり
は、まさに公立病院のあるべき姿と
言えるでしょう」。

市民に開かれた病院

情報発信と地域交流で 枚方市全体を健康に

「公立病院は閉鎖的ではない」
と考える病院長が目指すのは、情報
発信や交流を積極的に行う「市民に
開かれた病院」である。同院では
2024年の開院10周年を記念し
た「ひら10(ten)フェス」を皮切り
に、音楽祭の「ミュージックシエラン
グ」、関西外国語大学と連携した「ひ
らきらカーニバル」など、入院患者や
地域住民を元気づけるイベントを
数々開催。また、情報発信の場とし
て市民向け広報誌「病院ニュースほ
っと」も新たに発刊した。「目の前の患
者さんはもちろん、公立病院として
今後幅広い視野と高い視座で北河内
全体の健康を支えてまいります」。



関西外国語大学訪問イベント「ひらきらカーニバル」を今年1月に実施。患者や地域
住民に向けた、音楽・落語・フラダンス・少林寺拳法など楽しい出し物が盛りだくさん



地域住民に寄り添い 介護医療院を開設し 医療機能も強化

急性期医療の充実や介護機能の強化を図り、枚方市においてますます頼れる存在となっている佐藤病院。地域医療への貢献のため、たゆまぬ努力を続ける河合院長に取材し、今注力している取組みについてうかがった。

PROFILE

社会医療法人 美杉会 佐藤病院

河合 泰博 院長

佐藤病院の果たす役割

介護医療院の開設と 救急医療への尽力

枚方市を中心に、医療・介護・福祉のネットワークを展開する社会医療法人美杉会。佐藤病院はその中核病院として急性期医療を担っているほか、地域包括ケアにも注力し地域住民に安心感を与えている。昨年12月には、長期にわたって療養が必要な要介護認定者のため『介護医療院』を西館の4Fに開設した。「急性期や回復期の医療を終えて、その後ご自宅で療養できる方は良いのですが、様々な条件でそれができない方も多くいらっしゃいます。できるだけ住み慣れた地域で生活をしたという患者さんのご要望にお応えできるよう、医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えた介護保険施設を開設することにいたしました」と、河合院長。この介護医療院だけでなく、



1.2025年12月に西館4Fに開設した介護医療院。医療機能と生活施設としての機能を持つ 2.泌尿器科が行っている手術の様子。WAVE治療以外にも、腹腔鏡を用いた低侵襲治療が可能 3.市民健康セミナーの様子

美杉会には在宅医療、訪問看護・介護、特別養護老人ホームなど多様な機能・施設を持ち、必要に応じて速やかに連携することが可能だ。また、佐藤病院は大阪府指定二次救急医療機関として、救急車による搬送も積極的に受け入れている。詳細を河合院長にうかがった。「『断らない救急』をモットーに、24時間体制で可能な限りの患者さんを受け入れています。吐血、下血をしているケースや、腹部消化器系の疾患に関しては24時間緊急手術が可能です。また、ウォークインの時間外診療も年中無休で行っていますので、急病の時は夜間・休日を問わずお電話でお問い合わせいただければと思います。もし当院で対応できない場合には、症例に合わせて大学病院や近隣の病院を速やかにご紹介いたします。これからも『この街に住んでいて良かった』と地域の皆様に感じていただけるように、誠心誠意努力してまいります』。

医療機能の増強

循環器内科と泌尿器科で 低侵襲治療を提供

佐藤病院は回復期や介護についての機能を充実させているが、主たる役割は急性期医療であり、常に能力を向上させている。直近の取組みについて河合院長にうかがった。「心臓カテーテルができる循環器内科の先生が少しの間不在だったのですが、新しい先生をお招きすることができました。対応している疾患としては、心臓に酸素と栄養を送る冠動脈が狭くなったり詰まったりして、心臓の筋肉が酸素不足になる虚血性心疾患などの冠疾患となります。また、泌尿器科では新たに前立腺肥大症に対するWAVE治療を導入しました。これまでの前立腺肥大症の治療は、肥大した組織を切除するケースが一般的でしたが、WAVE治療では肥大した組織に高温の水蒸気を注入して組織を壊し、数カ月かけて吸収・収縮させます。全員に適用があるわけではないのですが、10分程度で治療が終わり、出血リスクも減らせるので、患者さんにとってメリットが大きいのではないかと思います」。また、同院は大阪府がん診療拠点病院でもあり、手術・薬物療法、放射線治療に対応することが可能で、地域住民の生命を守ることに全力を尽くしている。

地域貢献のための取組み

市民健康セミナーの開催や 行政との災害訓練の実施

同院の取組みは診療機能の強化にとどまらず、地域貢献のために様々な活動を行っている。「近隣に住まいの方に医療について興味を持っていただくために、定期的に市民健康セミナーを行っています。また、医療従事者は常に人手不足ですので、仕事についてもっと知っていただくために、中学生の職場体験の受け入れもはじめました。さらに、近年災害が頻発しておりますので、地震が発生した場合の救急受け入れなどの訓練を、昨年枚方市と連携して行いました。地域にお住まいの方にもっと寄り添えるように、これからさらなる活動ができればと考えております」。



昨年枚方市と連携しながら実施された災害訓練の風景。枚方市を震度6強の地震が襲ったという設定で、救急患者さんをどう受け入れるかなどを想定して訓練が行われた



守口市・門真市と 包括連携協定を結び さらなる地域貢献を目指す

ホスピタリティを重視し、地域住民に寄り添って様々な活動を行っている松下記念病院。昨年はその取組みが評価され、守口市・門真市と包括連携協定を締結するに至った。地域貢献を続ける村田病院長に現在の状況をうかがった。

PROFILE

パナソニック健康保険組合 松下記念病院

村田 博昭 病院長

地域医療への貢献

市民に開かれた病院として 多数のイベントを開催

現パナソニックグループの創業者である松下幸之助氏の発案により、昭和15年に設立された松下記念病院。その後、地域社会へ貢献することを目的に診療部門を拡大し、平成21年には地域医療支援病院、大阪府がん診療拠点病院の指定を受け、急性期医療において北河内医療圏を支える存在となった。令和7年2月には守口市、8月には門真市と包括連携協定を締結し、地域に寄り添う決意を新たにしている。「当院では市民の皆様へのウェルビーイングやまちづくりに貢献するため、様々な取組みを行ってまいりました。特に健康について正しい知識を持っていただくための市民公開講座には力を入れていて、大小あわせて年間約40回程度開催しています。また、学校や会社、



1.住民に人気を博している市民公開講座の様子
2.門真市との包括連携協定締結式の一部
3.人工膝関節手術支援ロボットを導入し、より高精度の手術を行う

医療機能の更新

手術支援ロボットや 肥満症治療薬を導入

地域の医療機関の要請に応じて講師を派遣する出前講座も積極的に行っていて、こうした取組みを行政からご評価いただき、包括連携協定を結ぶこととなりました。これからはより一層地域の医療課題に向き合い、市民の皆様にあ愛される病院になることができれば」と、村田病院長は熱い思いを込めて語ってくれた。同院は市民講座以外にも地域に開かれたイベントを開催しており、子供たちが医師や薬剤師になりきって職業体験ができる『わくわくフェスタ2025』は、約2100名が訪れる大盛況のイベントになったとのこと。本年も5月16日に開催が予定されており、様々なブースの出展が企画されている。こうした講座やイベントに取込まれた熱中症や防災など災害対応力向上の取組みが総合的に評価され、令和7年度おさか気候変動対策賞「適応分野」で大阪府知事賞を受賞するなど、外部からの評価も高い。

急性期病院としての役割を果たすため、同院は医療機能の強化にも邁進している。昨年には人工膝関節手術をより高精度に行えるよう、手術支援ロボットを導入した。「これまでの手術では、医師がレントゲン画像や経緯を基に、骨の切除位置や角度を判断していたのですが、手術支援ロボットを用いることで手術中に膝の動きや骨の形をリアルタイムで解析することができ、人工関節をより精密に設置することができるようになりました」と村田病院長は語る。また肥満症に対応するため、使用できる施設が限られている肥満症治療薬の処方もはじめた。「処方までに当院で医師の診察、栄養指導や運動指導を最低6カ月間受けていただくなど条件が複数ありますが、効果的に体重減少を目指せます。肥満でお悩みの方は、糖尿病・内分泌内科の受診をご検討いただければと思います」。そのほか前立腺がんの診療にも注力。術者の技術差が少なく、より高精度でがんを検出できる「MRI超音波融合画像ガイド前立腺標的針生検」を導入し、もしがんが見つかった場合にはロボット支援手術を行うことが可能となっている。

災害訓練の実施

災害時の医療機能維持のため BCPを策定し訓練を行う

近年各地で大規模な災害が頻発しているが、災害発生時でも医療機能を維持できるよう同院はBCP（事業継続計画）を策定しており、定期的に災害訓練を実施している。「年に一度大規模な訓練を行っているが、昨年は休日の職員が少ない状況を想定し、病棟での火災鎮火や負傷者対応に加え、外からの傷病者の受け入れをどのように行うかをシミュレーションしました。今後も地域の皆様が不安なく日々を過ごせるよう、行政とも連携を取りながら訓練に力を入れたと考えています」。こうした努力を惜しまない姿勢は、地域住民の安心につながっているに違いない。



大規模災害が発生した場合でも病院機能が麻痺しないようBCPを定め、定期的に訓練を開催。昨年は休日に災害が発生したことを想定し、実践的に訓練を行った

日用品や市販薬を買いに『薬局』を利用している方は多いのでは？
そして、正確にいうとそれは薬局ではなく、ドラッグストアではないでしょうか。
まずは**保険薬局**と**ドラッグストア**の違いを簡単にまとめました。

保険薬局

病院で発行された処方箋をもとに薬を処方する薬局です。薬剤師が常駐し、調剤室も完備されています。また、保険薬局を名乗るには厚生労働大臣から指定が必要です。

処方された薬には医療保険が適用されるため、支払う金額は一部負担で済みます。

保険薬局は「保険調剤」「処方箋受付」といった看板を掲げているため、外観からすぐ見分けることができます。

なお、一般的に保険薬局は『調剤薬局』と呼ばれています。病院などから調剤薬局といわれたら、保険薬局のことをさしていると思ってほぼ差し支えありません。

「処方せん発行」「保険調剤」「保険薬局」の表示のある薬局であれば日本全国どここの薬局でも調剤してもらえますので、都合の良い薬局に処方せんを持参してください。



ドラッグストア

販売されているのは市販薬や日用品になります。基本的に医療用医薬品の取り扱いはなく、薬剤師がいなければ調剤室もありません。

ただし、近頃は調剤窓口を併設しているドラッグストアも増えてきました。

ドラッグストアであっても看板に「保険調剤」「処方箋受付」などの記載がある場合は、保険薬局と同じように利用可能です。



薬局の種類と違いが知りたい！
それぞれの特徴は？

保険薬局を便利に使いこなす3つの小ワザ

病院から処方された薬を受け取りに、保険薬局へ行ったことのある方は多いでしょう。ここでは保険薬局をもっと便利に利用するための小ワザを紹介します。

1. お薬手帳は持っておいて損なし！

保険薬局での薬の処方時に「お薬手帳はお持ちですか？」と聞かれた経験はありませんか？

お薬手帳には以下の情報がまとめて記載されています。

- 病歴
- 薬の服用歴
- 副作用歴
- アレルギー歴 … など



薬剤師が患者の情報を把握することは、安全に薬を処方するためにとても重要です。お薬手帳は全国の保険薬局にて無料でもらえるため1冊持っておきましょう。

3. 薬の処方時の待ち時間を減らす方法

保険薬局によっては処方箋のネット受付を行っています。使い方の一例はこちらです。

① スマホで処方箋の写真を撮影する



② 専用アプリやLINEなどで薬局へ送信する



③ 処方箋の原本を持って薬局へ出向き、準備された薬を受け取る



上手に活用すると薬の受け取りにかかる時間を大幅に短縮できます。いつも利用している保険薬局が処方箋のネット受付に対応しているかどうか、一度調べてみてください。

かかりつけ薬剤師制度を利用するメリットは？

薬や病気の治療、健康に関する相談ができる場所が欲しいなら『かかりつけ薬剤師制度』を利用してみたいかがでしょうか。制度の利用によりかかりつけ薬剤師を持つことで、自身の健康管理にとってさまざまなメリットがあります。

- 服薬状況をひとりの薬剤師に一括で管理してもらえる
- 営業時間外も相談ができ、在宅医療の服薬指導もしてもらえる
- 医療機関との連携により適切なサポートを受けられる

かかりつけ薬剤師制度を利用するには手続きが必要です。また、薬を処方される際の負担額に『かかりつけ薬剤師指導料』として60～100円(3割負担の場合)が上乗せされます。



適切な治療を受け、病気を早く治すにあたり、かかりつけ薬剤師は心強いサポーターになってくれるでしょう。かかりつけ薬剤師制度にご興味があれば、いつも利用している保険薬局の窓口で確認してみてくださいね。

ドクター対談

P.22 北河内の基幹病院として 先進的治療を提供

関西医科大学附属病院
スポーツ医学センター・スポーツ医学科

山門 浩太郎 センター教授



関西医科大学附属病院
地域医療連携部

木下 秀文 部長



関西医科大学附属病院
国際がん新薬開発センター・新薬開発科

清水 俊雄 センター教授

P.24 整形外科と内視鏡部に 新部長就任

関西医科大学くずは病院
整形外科

黒川 勇人 部長



関西医科大学くずは病院
消化器内科

浦上 富生 内視鏡部部長

P.26 患者さんの希望に寄り添う 眼科の治療

関西医科大学香里病院
眼科

前田 敦史 医長



関西医科大学香里病院
眼科

緒方 奈保子 理事長特任教授

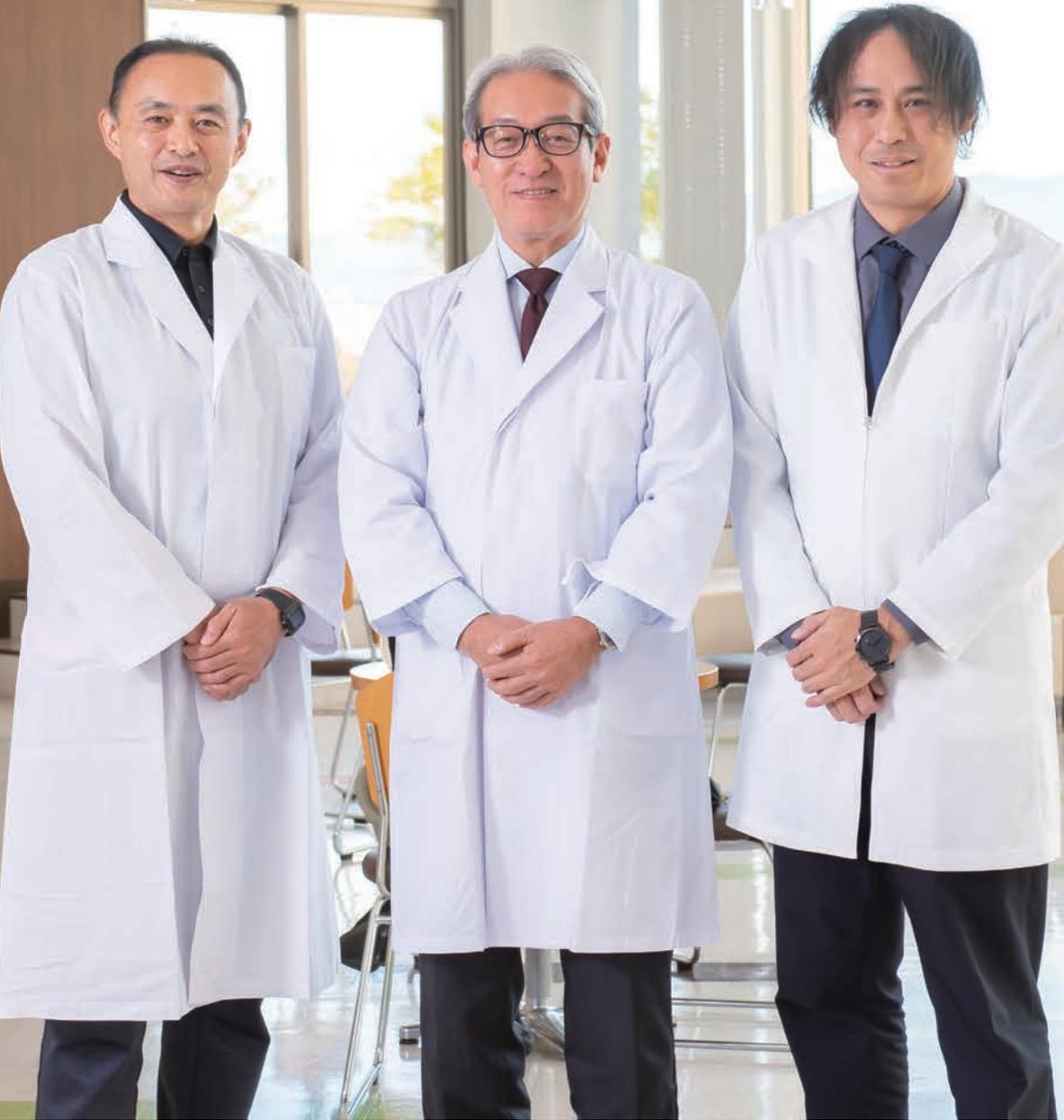
西日本で希少な診療科を開設し 医療アクセスを向上



枚方市新町

北河内の基幹病院として 先進的治療を提供

関西医科大学附属病院は北河内医療圏で中核的な役割を果たしており、医療連携を推進しつつ、先進的医療の提供に注力している。西日本では数少ない、新薬開発やスポーツ医療に特化した部門を新設した同院に詳細をうかがった。



関西医科大学附属病院
スポーツ医学センター・スポーツ医学科

山門 浩太郎センター教授

2025年4月にセンター教授に就任。肩関節外科を中心に診療と研究を行う。より高度なスポーツ医療を提供できるようチームの強化に努めており、選手の栄養面や心理面でのサポートも検討している

関西医科大学附属病院
地域医療連携部

木下 秀文部長

地域医療連携部の部長として診療所や病院との連携を重視し、定期的に勉強会や情報交換会を開催。医師同士顔の見える関係を築くことで、患者さんが地域において切れ目なく医療を受けられるように尽力している

関西医科大学附属病院
国際がん新薬開発センター・新薬開発科

清水 俊雄センター教授

2024年11月にセンター教授に就任。がん新薬のドラッグロス・ドラッグラグなどの国の重要課題を克服する為に数多くの新薬治験を実施。アジアにおけるがん新薬開発の国際ハブ拠点となることを目指して活動している



地域医療連携部の役割

木下 当院は北河内医療圏の中で三次救急を担う、最後の砦のような役割を果たしています。そのため地域医療連携部は「すべての患者さんの受け入れを断らない」ことを目標に、他の病院や診療所との連携を推進し、患者さんの紹介の打診があった際には、できるだけ患者さんをお待たせしないよう、30分以内には回答することを中心としています。逆に急性期の治療を終えて転院が必要になった場合には各医療機関の役割に応じて転院を調整しますが、患者さんが不安を感じることはないよう、看護師やメディカルソーシャルワーカーがお話をうかがった上で、より良い転院先を見つけた支援をしています。そのほか医療福祉相談にも対応し、患者さんを支援しています。

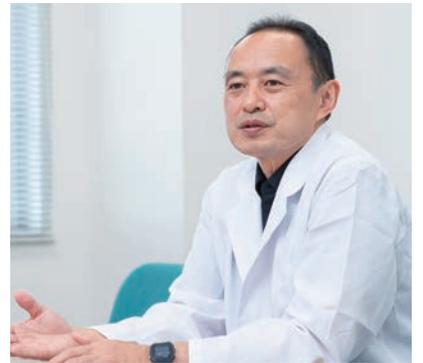
新薬開発科の機能

清水 国際がん新薬開発センター！新薬開発科は大学病院では国内初のがん新薬治験に特化した診療科です。進行再発がんに対する新薬第Ⅰ相試験は、承認されている治療を終えた後に参加可能となることが通常ですが、近年では治療ラインの初期の段階から参加できる治験も増えています。新薬へのアクセスには様々な条件がありますが、治療の選択肢が増えることは患者さんにとってメリットだと考えます。日本でがん新薬第Ⅰ相試験を実施している医療機関は少なく、多くが首都圏に集中していますが、大阪府枚方市に拠点ができたことで西日本にお住まいの方が治療を受けやすくなることを期待しています。地域医療連携部に連絡いただければ当科と連携の上で治験参加の可否を回答できますので、お問い合わせいただければと思います。



スポーツ医学センターの開設

山門 スポーツ医学センターは、昨年4月に「西日本のスポーツ医療の中心的な拠点をつくる」という目的で設立されました。スポーツ外傷や障害が多い肩・膝・足の関節に精通した専門医に加え、プロ選手や日本代表チームのケアを担当してきた理学療法士、アスレチックトレーナーが集まり、専門チームとして活動をはじめています。通常の整形外科と異なるのは、限られた選手キャリアのなかでいかに短期間で回復させるか、といった治療のゴール設定に締切があるという点で、選手一人ひとりに合わせた治療ができるように尽力しています。スポーツを長く続けるために自分に合った治療を受けたいという方は、予約制となりますが、お問い合わせいただければと思います。



皆様へのメッセージ

木下 地域医療連携部では、療養中の諸問題や経済的問題など、患者さんの様々なお悩みにも対応しております。診療を受けていただく際、お困り事がありましたらお問い合わせいただければと思います。

清水 当院には数多くの診療科があり、様々ながんの治療に連携して取組むことができます。どちらの医療機関の皆様も、気兼ねなくご相談いただければと思います。

山門 スポーツ医学と聞くとトップアスリートでなければ受診できないと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、アマチュアや愛好家の方も幅広く受け入れております。年齢にかかわらず、ご相談いただければ幸いです。

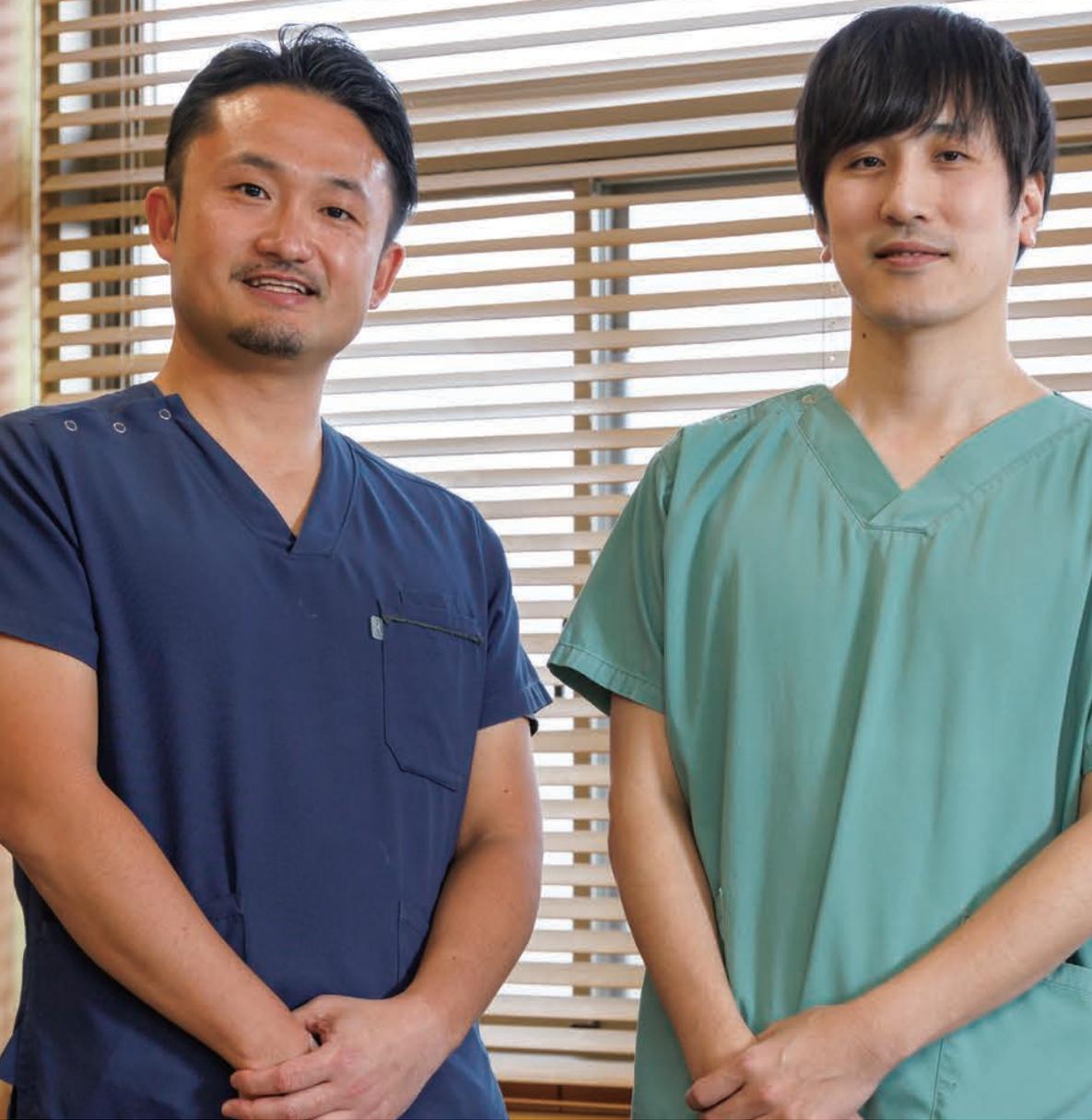


京阪「枚方市駅」から徒歩3分とアクセスしやすい関西医科大学附属病院。患者さんとその家族が利用できる関医タワーホテルもある



枚方市楠葉花園町

地域密着型の病院として
患者さんの受け入れを強化



整形外科と内視鏡部に 新部長就任

関西医科大学くずは病院にて手術件数を伸ばしている整形外科と、検査件数が増加している内視鏡部。それぞれに新部長が就任し、同院に新たな風が吹こうとしている。お二人に部長就任の抱負をうかがった。

関西医科大学くずは病院
整形外科

黒川 勇人部長

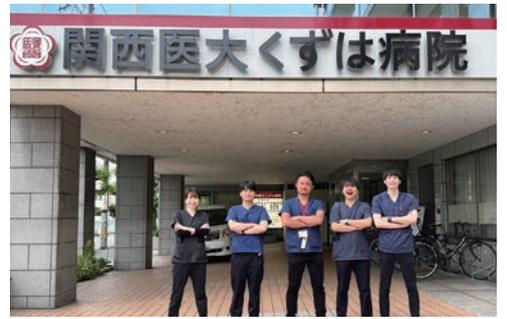
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医・リハビリテーション医・リウマチ医。2025年4月に整形外科部長就任。脊椎外科を専門としつつ幅広い整形外科疾患に対応し、手術件数増加に貢献している



関西医科大学くずは病院
消化器内科

浦上 富生内視鏡部部長

医学博士、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器学会専門医。2025年10月に内視鏡部部長就任。高度な内視鏡検査体制を構築しつつ、患者さんには苦しくない検査の提供をすることを目指している



整形外科には5名の常勤医師が勤務しており、四肢・脊椎の外傷、スポーツ障害、加齢に伴う変性疾患などに対応している

部長就任の抱負

浦上 内視鏡部は始まってから日が浅いのですが、人員も検査件数も徐々に増えてきており、これからさらに発展させて地域医療に貢献していきたいと考えています。当院は大学という名前がついていますが、地域密着型の病院という側面があるので、気兼ねなく内視鏡検査を受けに来ていただければ幸いです。

黒川 私はこの病院に勤めて6年になるのですが、整形外科の手術件数が増加していく様子を目の当たりにしてきました。骨折や外傷患者さんの救急受け入れも増加し、ようやく当科が地域の皆様に認知されてきたと実感しています。この流れを途切れさせず継承していきたいです。

整形外科と内視鏡部の強み

黒川 当院の特長は手術を行った後、リハビリを経て自宅復帰まで一貫して治療を受けていただけることです。そして当科の特色としましては、私が専門とする脊椎疾患ではBKPと呼ばれる骨粗鬆性椎体骨折(通称：圧迫骨折)の手術や、低侵襲脊椎手術(MIST)にも積極的に取り組んでいます。どちらも身体への負担が少なく回復も早いので、積極的にやりたいと考えています。

浦上 苦痛の少ない内視鏡検査を目標としています。大腸内視鏡検査においては、腸管を広げるためのガスを吸収しやすい炭酸ガスに変え、検査後の腹部の膨張感を抑える配慮を行いました。鎮静剤についても新たに保険適用された薬剤を用い、負担の軽減に取り組んでいます。



整形外科と内科の連携



黒川 例えば骨折や外傷などで入院されている患者さんが、食欲がない、便秘がひどい、血便が出るといった内科的症状を訴えた時、すぐに浦上先生や内科の先生に相談し、対応していただける体制が整っています。ご年配の方だと整形外科疾患だけでなく、内科的な持病を持っているケースも多いので、患者さんにとっては安心して入院していただけるのではないかと感じています。

浦上 私は内視鏡部長を担当する一方で消化器内科の診療も行っているのですが、やはり入院患者さんの中に腰が痛い、膝が痛いという方がよくいらっしゃいます。整形外科との信頼関係が醸成されていることで、こうしたケースに速やかに対応できるのは、当院の強みと言えるかもしれません。

地域の方へのメッセージ

浦上 開業医の先生から内視鏡検査を直接予約申し込みができるシステムが以前からあったのですが、手続きが煩雑だったこともあり、あまり活用がされておらずこの度手順を簡略化しました。スタッフ一同技術を高め、検査を受け入れる体制を整えましたので、ぜひご活用いただけますと幸いです。

黒川 私が部長に就任してから開業医の先生に定期的に挨拶に伺い、紹介患者さんがどうなったかお知らせする症例の検討会のようなものを年に数回行うようにしました。こうした地域連携を深めて、地域にお住まいの方が住み慣れた場所で医療を完結できるように、今後も努力を重ねたいと思います。

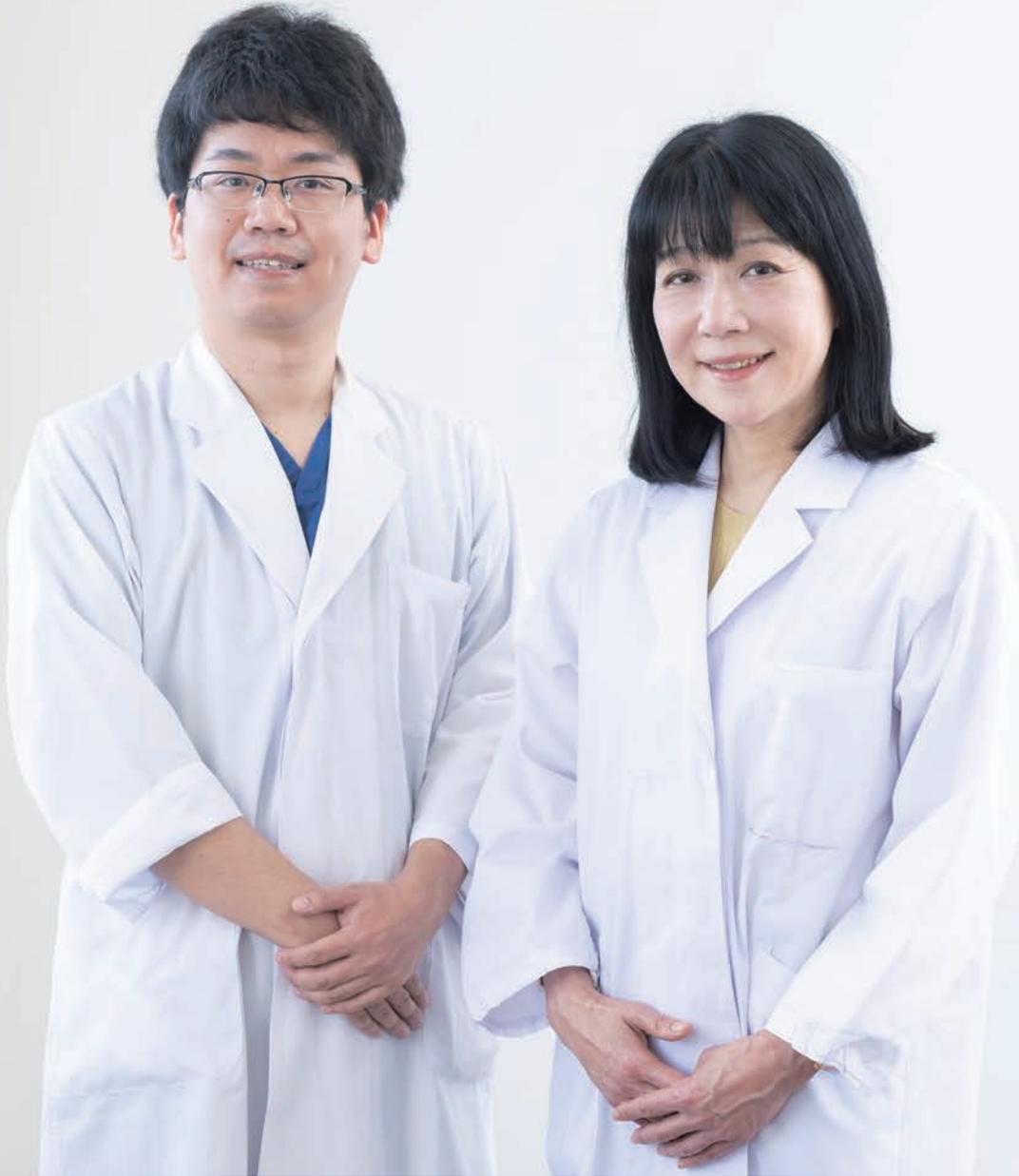


処置を行う人によって苦痛の差が生じないようにスタッフ全体のレベルアップを図り、検査を受ける患者さんの快適さを追求する浦上先生



寝屋川市香里本通町

緑内障や網膜疾患などに 低侵襲な治療を行う



患者さんの希望に寄り添う 眼科の治療

関西医科大学香里病院の眼科では「患者さんにやさしい医療」を目指し、眼科領域の幅広い疾患を診療している。ニーズに合わせた入院対応や治療の特長など、前田先生と緒方先生のお二人に詳細を語っていただいた。

関西医科大学香里病院
眼科

前田 敦史 医長

日本眼科学会専門医、大阪府難病指定医。緑内障や白内障を専門としていて、特に失明の原因となりやすい緑内障の治療に注力。身体への負担の少ない手術に対応し、患者さんのニーズに合わせて治療することを心がけている



関西医科大学香里病院
眼科

緒方 奈保子 理事長特任教授

日本眼科学会専門医であり、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性などの網膜疾患を専門とする。治療を受ける患者さんの健康状態に寄り添い、必要に応じて他科とも連携を取りながら、最適な医療の提供を目指している

緑内障の治療

前田 緑内障は眼圧が高くなって視

神経が障害されることにより視野が欠け、見えない部分が増える。広がり、見えにくい病気の種類があるが、緑内障には様々な種類があり、人によって治療方法は異なります。主に眼圧を下げることで治療を行うのですが、当院では「iStent」というチタン製のステントを目の中に留置して、目の中の水（房水）の排出を助ける手術や、「プリザーブフロマイクロナシャント」という細いチューブを目に挿入し、房水を排出する手術が可能です。これらの手術は極小の切開で行うため、身体への負担を最小限にすることができ、病気の進行度合いによっては点眼治療で対応可能なこともあり、患者さんの状態に合わせて最適な治療を検討いたします。



白内障手術装置や手術用顕微鏡を用いた高精度の手術を実施。手術時の傷口を小さくすることで、日帰りや短期入院を可能にする

眼科の対応疾患

緒方 現在眼科には常勤3名と非常勤1名の4名の医師が勤務していて、網膜・硝子体疾患を中心に眼科領域のほぼ全ての疾患に対応しています。私の専門分野は網膜疾患で、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性の治療を行うほか、緊急の網膜剥離の手術にも対応しています。

前田 私 は白内障や緑内障の治療を専門としていて、手術や保存的治療を行っています。白内障に関しては「1回の入院で両眼手術したい」「まずは片目を手術して、落ち着いてからもう片方を手術したい」といった患者さんの希望に応じて手術を行い、入院期間に関しててもご要望に合わせて柔軟に対応できるように体制を整えています。

患者さんへのメッセージ

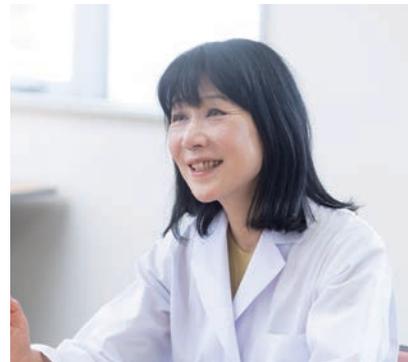
前田 緑内障は初期だと自覚症状

がないことが多く、気がついた頃には取り返しがつかないほど進行していることがあります。そのため症状がなくても40歳を超えたら定期的に検査を受けていただきたいのですが、もし目に異常を感じた場合は、早めの受診を検討していただければと思います。

網膜疾患の治療

緒方 網膜とは眼球の奥にある薄い

神経の膜のことで、カメラのフィルムの役割を果たしています。この網膜に何らかの異常が生じると、視力が低下したり視野が欠損したりします。代表的な疾患に糖尿病網膜症があり、高血糖状態が続くことで網膜に流れる細い血管が傷付いて出血や詰まりなどを起こし、進行すると失明する可能性がある病気です。糖尿病網膜症はレーザー治療や手術などで症状を改善できることがあります。眼科的治療だけでなく、血圧や血糖のコントロールといった全身管理が必要ことが多いです。当科では内科と緊密に連携して患者さんの全身管理を行いながら、必要な治療ができるように全力を尽くしています。



前田 医師の診療風景。小さな病変も見逃さないよう患者さんの声に耳を傾け、的確な検査・治療を行うことを心がけている

緒方 年齢を重ねると見えにくいのは当然と思つて受診を先のは

しされる方がいらっしゃるのですが、視力が低下すると社会活動性が落ち、認知症が進みやすくなったり、転倒のリスクが高くなったりします。良い視力を保つことは健康で長生きの秘訣になりますので、少しでも見えにくいと感じたらぜひ受診をしていただきたいです。

オンライン診療について

新型コロナウイルスが流行したのをきっかけに、近年「オンライン診療」という新しい病院受診の方法が注目されています。オンライン診療を受けるために**必要なもの**と**受診手順**、**メリット・デメリット**をまとめました。



オンライン診療はどうすれば受けられる？

オンライン診療を導入している医療機関はまだ多くありません。また、初診からオンライン診療を受けられるか、初診では対面診療が必要なかは、医療機関により異なります。まず、オンライン診療を受けるために**必要なものを準備**します。

インターネット環境

デジタル端末

(スマートフォンやタブレット、パソコンなど)

オンライン診療アプリ

※受診する医療機関に対応したアプリが必要です。

実際に診療を受けるための手順はこちら

1 オンライン診療を受けている医療機関を探す



2 オンライン診療を受けるために必要な手続きや準備をする

・オンライン診療アプリのダウンロード
・ユーザー登録 ・問診表の記入など



3 受診日を予約する



4 診療時間になったらアプリからテレビ通話を接続し、医師の指示に従いながら診察を受ける



5 診察料を支払う



6 (必要であれば)薬を処方してもらう

※薬を受け取る方法にはいくつかパターンがあります。
・医療機関や調剤薬局へ直接受け取りに行く
・自宅へ郵送してもらう など



オンライン診療のメリット・デメリットは？

診療といえば病院に向いて受けるもの、というのが今の日本における多くの人の常識です。しかし、これからはオンライン診療に対応した医療機関が着実に増えていくと予想されます。ところで、オンライン診療にはどのような利点があるのでしょうか？ 6つのメリットとして挙げました。

メリット

- ・環境さえ整っていれば、いつでもどこでも診療を受けられる
- ・医療機関へ出向く手間がなくなる
- ・通院にかかる時間や交通費を削減できる
- ・医療機関での待ち時間が減らせる
- ・他人と対面しないため、院内感染や二次感染のリスクが減る
- ・通院が難しい遠方の専門医療機関の診療を受けられる

一見するとメリットが多いオンライン診療ですが、懸念点や課題も抱えています。考えられるデメリットは以下のとおりです。

デメリット

- ・診察に必要な情報を伝えきれない可能性がある
- ・必要な処置や検査ができない
- ・インターネットやデジタル端末にうとい患者には難易度が高い
- ・支払方法が電子決済に限られる

どうなる？これからのオンライン診療

新型コロナウイルスの流行以降、人混みや不特定多数の人が集まる場など、感染リスクが高まる環境に対して敏感になった人は多いのでは？

オンライン診療はさまざまなリスクを減らすことに加え、通院にかかる手間や時間、コストまでも削減することができます。「忙しくて病院に行く時間がない」「病院通いが負担になっている」という方々の救世主になりうる画期的な診療方法です。

とはいえ、オンライン診療はまだ多くの課題を抱えているのも事実。メリットとデメリットの両方を理解しつつ、上手に活用したいところですね。今後より便利に、快適になると予想されるオンライン診療に、ぜひ注目してみたいかがでしょうか。

専門医療にせまる

P.30

上部消化管の低侵襲治療

関西医科大学総合医療センター

齊藤 卓也 診療部長

P.32

脳神経疾患の診療と高度手術

関西医科大学総合医療センター

吉村 晋一 診療部長



担当医
齊藤 卓也 診療部長

関西医科大学総合医療センター腹部ヘルニア・機能外科センター長／関西医科大学卒／日本消化器外科学会指導医・専門医／日本消化器病学会専門医／日本内視鏡外科学会技術認定医／日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター（指導医）

テーマ

上部消化管の低侵襲治療



腹腔鏡手術に長けた医師が集結。胃がんや食道がんはもちろんのこと、機能低下をもたらす腹部ヘルニアや逆流性食道炎の低侵襲治療にも対応する。

**悪性・良性を問わず
上部消化管疾患を診療**

上部消化管外科とは、主に食道・胃・十二指腸に発生する疾患を扱う診療科のこと。関西医科大学総合医療センターでは、食道がん、胃がん、胃粘膜炎、食道裂孔ヘルニア、正中弓状靭帯圧迫症候群などの疾患を診療している。身体への負担が少ない低侵襲の治療に力を入れていて、食道がん・胃がんにおいては手術支援ロボット「ダヴィンチ」や腹腔鏡を導入。これらの手術ではメスで大きな切開をすることがないため、入院期間の短縮や合併症のリスクを低減することができる。また、2025年5月からは鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアなどのヘルニア疾患、高度肥満症、逆流性食道炎といった生活の質の低下を招く良性疾患を専門的に診療する「腹部ヘルニア・機能外科センター」を開設。低侵襲治療が受けられることと、心身両面でのケアが充実していることから、近畿各地から患者さんが集まっている。

機能代謝障害における 駆け込み寺的存在

加齢による筋力低下や肥満の増加、生活様式の変化などによって、腹部ヘルニアや逆流性食道炎に悩む人は増加傾向にある。これらの疾患は生活の質を著しく低下させる要因となり、できるだけ早期に治療することが望ましい。齊藤先生はこう語る。「ヘルニアは生活の質に影響することはもちろんですが、腸が締め付けられて壊死する



手術支援ロボット「ダヴィンチ」。先進医療となるが、2026年からは鼠径ヘルニアに対して手術が行えるようになり、治療の選択肢が増した

嵌頓(かんとん)や、腸閉塞を引き起こす可能性があり放置することは危険です。当院はヘルニア領域での技術認定医育成や、全国規模のヘルニア研究会開催に携わるなど、腹部ヘルニアに対して専門医療体制を構築しており、再発や慢性疼痛といった難治例にも対応しています。主に腹腔鏡下での手術を行うほか、2026年からは鼠径ヘルニアに対し、先進医療としてロボット手術も開始いたします。これらの治療は身体的負担が少なく、高齢であっても治療を受けていただける場合が多いので、苦痛を我慢せずにご相談いただければと思います。また、診断が難しい正中弓状靭帯圧迫症候群の専門治療も行っており、食後の腹痛や体重減少の原因が分からずお悩みの方も受診をご検討いただければと思います」。

肥満患者さんに対し 様々な対応を実施



「健康寿命を保つためにも、胸焼け、お腹の膨らみ、体重減少など、気になる症状があれば我慢せず早めの受診を」と語る齊藤先生

世界的に肥満の割合は増加傾向にあり、健康リスクを高める大きな要因となっている。また、肥満があると手術を行う際に手技が困難になったり、麻酔が効きにくくなったりと病気の治療を困難にさせる。同院では多職種が連携し、肥満患者さんに対する対策に力を入れている。「肥満の患者さんは今後も増えることが予想され、その対応は必

須です。当院では主に高度肥満症の方に対し、トウーステージサージェリーという二段階手術を提案しています。これは最初に減量代謝改善手術を行って手術のリスクを減らした上で、本来の疾患の手術に臨むというものです。また、無事に手術が終わったとしても、肥満が改善されなければリスクは残ったままになるため、肥満の解消にも注力しています。例えば糖尿病の方であれば内分泌代謝内科や精神科・歯科の医師、看護師、栄養士、理学療法士などで協力しあい、体重減少をサポートします。病気を抱えていなくても、健康維持のために肥満の改善は必須ですので、BMI32.5kg/m²以上の方は一度ご相談いただければと思います」。肥満は身体的・心理的・社会的問題から生じる多因子疾患であり、自力での解消が難しい場合は受診を検討していただきたい。

専門医療に できること!

上部消化管疾患における 腹腔鏡手術の実施

食道がん・胃がんのほか、薬で改善しない逆流性食道炎や、鼠径ヘルニア・腹壁瘢痕ヘルニア・臍(さい)ヘルニア、正中弓状靭帯圧迫症候群など、幅広い疾患に対して腹腔鏡手術が可能



腹腔鏡手術は小さな傷口で手術を行うため、出血や痛みが抑えられ、開腹手術よりも早期の退院や社会復帰が期待できる

多職種で最適な治療を模索する 腹部ヘルニア・機能外科センター

上部消化管外科を中心として内分泌代謝内科や精神科などの診療科が連携するほか、看護師や栄養士、理学療法士、医療安全管理部などが協力しあって患者さんにとって最適な治療を検討する



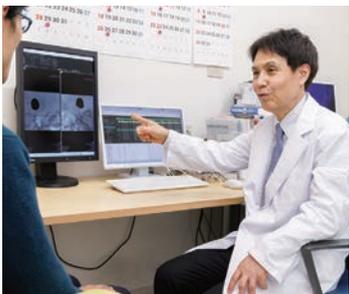
およそ3か月に一度の頻度で多職種が参加するカンファレンスを実施し、どうすれば患者さんにより良い治療を提供できるかを話し合う



担当医
吉村 晋一 診療部長

関西医科大学総合医療センター脳卒中センター長 / 関西医科大学卒 / 日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本脳神経血管内治療学会専門医

テーマ 脳神経疾患の診療と高度手術



脳血管障害、頭部外傷、良性脳腫瘍などを専門とする吉村先生。日本頭痛学会の認定頭痛専門医でもあり、脳神経疾患に関する幅広い相談が可能

基礎的診療科として患者さんを幅広く受け入れ

脳神経外科は脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、脊椎疾患など脳や神経に関わる疾患を取扱う診療科であるが、「深刻な症状がないと受診できないのでは」などのイメージによって、自ら受診する患者さんは少ないかもしれない。吉村先生はそうした状況を憂いこう語る。「脳神経外科は専門医制度において、内科や整形外科と並んで『基本領域』として設定されていて、患者さんが最初に受診をすべき診療科という扱いとなっています。頭痛やめまいといったよくある症状も診療をしていますので、気兼ねなく受診をさせていただきます。また、脳は身体の全てに関係する臓器なので、手足の痛み・しびれ、目が見えにくいといった一見脳とは関係ない症状が、実は脳が原因で発生していることもあります。他科を受診しても原因が分からない際、脳の検査で原因が見つかる場合もあるため、ご相談いただければと思います」。

総合病院の強みを生かし チームで診療を実施

関西医科大学総合医療センターではチーム医療を重視しており、脳神経外科も多様な人材が連携して診療を行っている。詳細を吉村先生にうかがった。「脳神経疾患には様々な専門分野がありますが、当科では複数医師が勤務しているため、脳卒中、脳卒中外科、脳血管内治療、脊椎脊髄外科、小児神経外科、神経内視鏡、神経外傷、頭痛、認知



脳神経外科には複数の医師が勤務し、幅広い脳神経疾患を診療することができる。他科との連携も積極的にいき、繊細な全身管理が必要な症例にも対応

専門医療に できること!

CT装置を併設している 血管造影室 (IVR-CT)

2つの角度から同時に撮影することで3D画像をリアルタイムで確認でき、体内の奥深い血管にもカテーテル手術が可能。CT機能も兼ね備えるため、移動による時間ロスや身体への負担が最小限に



同院の救命救急センターにもIVR-CTがあり、緊急を要する脳卒中などにも活用されている

複雑な病変に対応できる 精密な開頭手術

脳の病巣に直接アプローチして治療を行う。手術顕微鏡や神経モニタリングなどを使って精密に処置が行える。血管内治療では難しいサイズの大きな腫瘍や複雑な動脈瘤にも対応可能



既存の血管の血流を補うために新しい経路を作成するバイパス術は、カテーテルで行うことができないため、その場合にも開頭手術を行う

症といった各領域の認定医・専門医・指導医の資格を有する医師が連携することができ、幅広い診療を行うことができます。また診療科を横断した連携にも力を入れており、一刻を争う脳卒中の場合、救命救急センターが窓口となって受け入れた後、手術を当科で行い、総合集中治療部で管理をするといった連携がスムーズにできるよう努めています。クモ膜下出血など複雑な全身管理が必要なケースでは、総合病院としての強みを生かし、症状に応じた診療科とすぐに連携が可能です。手術した後リハビリが必要なものも多ですが、その場合にはリハビリテーション科と速やかに連携して早期からリハビリに関わっていただき、できるだけ素早い社会復帰を目指します。当院退院後も地域連携を行うことで、手厚くサポートを行っています」。

血管内治療と開頭手術で 様々な脳血管障害に対応



脳血管内治療を行うアンギオグラフィー。足の付け根などからカテーテルを血管内に挿入し、動脈瘤や脳梗塞のある箇所まで到達させて処置を行う

吉村先生は脳血管障害を専門としていて、患者さんの状態に合わせた高度な手術を行うことが可能だ。「手術を行う必要がある場合には、患者さんへの身体的負担の少なさ、安全性を考慮した上でより良い手術を選ぶようにしています。近年ではカテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入し、脳内の病変まで到達させて血管を内側から広げたり、

血栓を取除いたりする血管内治療を行うケースが多く、開頭手術と比べて身体的負担が少ないのがメリットです。ただし血管を作り直す必要があるなど、カテーテルでは治療を行えないこともあるので、その際は高倍率の顕微鏡を用いて精密な開頭手術を行います。症例によっては、開頭手術と血管内治療を併用することもあります。また当院は大学病院ですので希少疾患にも対応しており、大型の動脈瘤や血栓化動脈瘤の手術も可能です。しかし、必ずしも手術する必要がない症例もあるため、CTや血管撮影などを駆使して正確に診断して治療方法を検討し、患者さんが納得して治療を受けられるように説明を行うことを心がけています」と吉村先生は語る。患者さんの退院後の生活まで見据え、様々な治療を選択できるのが同院の強みだ。

「健診・検診」を定期的に受けよう

年1回は健康状態や病気の有無の確認を！

多くの病気は早期発見するほど治療期間が短くなり、治療費用も抑えられ、体にかかる負担も少なく済みます。病気の早期発見に役立つのが健康診断や各種検診です。ここでは健診と検診の違いから、定期的な健診を受ける重要性、年齢別に見る「受けておくべき検診」を解説します。



健診ってなに？

健診は「健康診断」の略で、健康状態を確認するために行います。学校や会社で実施される年1回の健診を受けた経験がある方がほとんどでは？

健診の検査項目は、受ける機関や対象者の年齢により多少異なります。厚生労働省が定める一般健康診断の項目をまとめましたので、一例として参考にご覧ください。

- 1 問診(既往歴および業務歴、喫煙歴や服薬歴の調査)
- 2 自覚症状および他覚症状の有無の検査
- 3 身体測定(身長、体重、胸囲、視力、聴力)
- 4 胸部エックス線検査および喀痰検査
- 5 血圧
- 6 貧血検査
- 7 肝機能検査
- 8 血中脂質検査
- 9 血糖検査
- 10 尿検査
- 11 心電図検査



6〜10の項目は採血により調べることができます。年に1回は健診を受け、毎年の検査結果を比較しながら健康チェックを行うようにしましょう。

定期的な検診で病気の早期発見を！

検診は、特定の病気を早期に見つけるために行う検査です。ここではがん検診と歯科検診をピックアップします。

■がん検診

日本人の2人に1人は発症するといわれる「がん」は、三大疾病の1つです。がんの発症リスクは性別や年齢により異なりますので、以下の表を参考に該当する性別・年齢の方は定期的にがん検診を受けましょう。

がんの種類	検査方法	性別	年齢	検診頻度の目安
胃がん	・問診 ・胃部エックス線検査または胃内視鏡検査	男女	40歳以上	2年に1回
大腸がん	・問診 ・便潜血検査	男女	40歳以上	年1回
肺がん	・問診 ・胸部エックス線検査 ・喀痰細胞診	男女	40歳以上	年1回
子宮頸がん	・問診 ・触診 ・子宮頸部の細胞診 ・内診	女性	20歳以上	2年に1回
乳がん	・問診 ・乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	女性	40歳以上	2年に1回

けつてもらう目的で、検診費用の大部分を公費で負担していただきます。少ない自己負担額で検診を受けられるため、お住まいの自治体ホームページで確認してみてください。

■歯科検診

歯科検診の目的は、虫歯や歯周病を早期発見すること。歯や歯茎の状態をチェックすると同時に、歯についての歯垢や歯石のクリーニングや、家でできる歯磨きの仕方を指導してもらったこともできます。

一度削った歯は二度と元通りにはなりません。もし虫歯になってしまっても、早期治療を施すことで削る範囲は狭小で済みます。

歯の健康は、全身の健康に直結するものです。健康な歯でよく噛んで食べると胃腸での消化吸収が促進され、食事から効率的に栄養を吸収することができます。また、歯周病は誤嚥性肺炎や心疾患、脳血管疾患のリスクも高めるとい

われているため、歯科検診による早期発見・早期治療がとても重要なのです。

日本歯科医師会では、80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とする「8020運動」を推進しています。何歳になっても自分の歯でおいしく食べるために、2〜3か月に1回はかかりつけの歯科医で歯科検診を受けましょう。

定期的な健康チェックが大切な理由

あなたは自分の意志で病院へ行き、健康診断や各種検診を受けたことがありますか？会社や学校には健康診断を実施する義務がありますが、これらに所属していない方々は自分で健康チェックを行わなければなりません。

2018年に国内在住の成人女性を対象に行われた調査では、専業主婦の18.5%が「5年以内健康診断を受けていない」と回答したことがわかりました。

「引用：オレレンジベージュくらし予報 女性の健康診断」についての調査）
ほかに会社を退職した方や個人事業主などは、自ら健康診断を受けに行き必要があります。

それでも健診は面倒…という方へ

車は2年ごとに車検を受け、「安全に走れるかどうか」を確認するよう義務づけられています。突然の故障による走行不能や事故を未然に防ぐためです。それでは人間はどうでしょうか？何年も健診や検診を受けないまま、気づかないうちに病気が進行していたら…。車と同じく、ある日いきなり動けなくなったら大変ですよ。

「病院に行く時間がないから」「悪い結果が出たら怖いから」と健康診断や各種検診を受けずにいると、未来のあなたが後悔するかもしれません。面倒くさがらずに、一度かかりつけ医やお住まいの市区町村に問い合わせみて、ぜひ受診するようにつけてください。

ワタシのかりつけ医

P.36

御殿山に根ざして50年、変わらない開院からのモットー。
目指すのは“病院以上”の存在

医療法人御殿山 福田総合病院
福田 正剛 理事長

ワタシの
かかりつけ医

枚方市渚西

医療法人 御殿山
福田総合病院

●内科・外科・整形外科・脳神経内科・
精神科・消化器内科・消化器外科・
循環器内科・肛門外科・皮膚科・
アレルギー科・泌尿器科・リウマチ科・
放射線科・リハビリテーション科

御殿山に根ざして50年、
変わらない開院からのモットー。
目指すのは、病院以上の存在

小さな診療所は50年で 大きな総合病院へ

福田総合病院の始まりは、1975年に理事長の父が枚方市御殿山の地で開業した「福田医院」に遡る。当時は町の診療所として専門の垣根を越えた診療を行い、常に患者に最善を尽くして地域住民の健康を守っていた。「目の前の困っている人を助きたい」という先代の意思で1978年には総合的な医療を提供する病院として生まれ変わり、半世紀が過ぎた現在は先代の意志を現理事長が引き継ぎ、地域医療に日々取り組んでいる。「一般的に病院は病気の時に行くイメージが強いですが、私たちが目指す病院の姿は、病気になる前から気軽に健康のために通える場所であり、誰かと気楽に話したりつながったりできる場所です。そんな病院以上の存在を目指すのは、半世紀に渡って地域住民との信頼を築いてきたからこそ。これからも、真心と奉仕の精神をモットーに、という開院当初からの理念を守りながら、新たな取組みに挑戦し、病院の

イメージを変えていきます」。改装した二軒家で、医師とスタッフ合わせてたった7名ではじめた小さな診療所が、300名余りの多くのスタッフが連携して動く総合病院へ。整形外科や内科などの診療に加えて、リハビリ、訪問看護、デイケアなど幅広い医療福祉を提供するなど、ますますサービスの幅が広がっている。これからも先代が築き上げた歴史と地域住民との絆を守りながら、福田理事長は新しいことに挑戦して病院のありべき姿を変えていく。



先代の福田正勝院長は、家では寡黙ながらも患者との日々のコミュニケーションを大切にしていた。現理事長もその姿勢を大切に守り続ける

PROFILE

福田 正剛 理事長

先生のこぼ

日本骨粗鬆症学会認定医が 的確な治療方針を提案



枚方市で骨粗鬆症検診の新設が進められるなか、私自身もこれまで認定医として適切な診断と治療に尽力してきました。一人ひとり異なる原因を探り、薬・運動・食事・リハビリなど多角的な視点から、患者様に合わせた治療方針をご提案します。

福田正剛 理事長

ココもチェック!

骨密度測定装置をはじめとした 検査機器も充実



院内には、MRI、CT、TVレントゲン・X線一般撮影装置などの検査機器を多数備え、近隣の医療機関からの検査依頼も多い。骨粗鬆症の検査や診断に使われる骨密度測定装置は、痛みを伴わず短時間で高い精度の計測が可能

こだわりPOINT 1

専門性の高い治療ができる整形外科

高齢化率約30%の枚方市に位置する同院では「腰が痛い」「膝が曲がりにくい」など高齢者によく見られる症状を訴える患者も多い。そのため整形外科には最も力を入れ、肩こりや腰痛、骨折、スポーツでのケガなど様々な症状に対応する。また、腱断裂や腱鞘炎といった手の疾患・障害を専門とし、数多くの症例を手がけてきた医師も複数名在籍。上腕から指先の病気を診断する手外科センターでは、高い専門性を必要とする手の疾患への治療や手術にも注力している。※在籍情報は2026年4月時点

整形外科
専門医4名が
在籍



こだわりPOINT 2

入院、介護、生活支援までフォロー

病院内に地域包括ケア病棟・障害者病棟などを有し、不安なく自宅や施設に復帰できるよう支援。特徴は全171床ある病床数のうち111床が障害者専用病床であること。様々な理由から回復期病院に入院できず、自宅で過ごすことも難しいという患者のニーズに応えるために、必要な設備と人員体制を整えている。介護や生活支援においては、当法人グループの「フクダ居宅介護支援事業所」や「フクダ訪問看護ステーション・御殿山」の専門職が関連施設と連携協力を図りながら、一人ひとりのニーズにあったサービスを提供する。

安心の
療養環境を
提供



こだわりPOINT 3

コミュニティスペース「GOZEN」が誕生

同院の向かいにある建物をリノベーションし、医療と地域をつなぐコミュニティスペース「GOZEN(ゴゼン)」を新設。2025年11月8日には「秋祭り&GOZENプレオープンイベント」を開催し、縁日・駄菓子コーナーには笑顔で楽しむ親子の姿も。また、ミニ医療マルシェコーナーでは体組成計や脳年齢測定器の結果を元にした健康アドバイスを行うほか、看護師によるハンドマッサージも行った。今後も地域住民の声に耳を傾けながら、このスペースを活用した医療と地域がつながる場づくりを行っていく。

居心地の
よい空間が
魅力



健康寿命を延ばす未病対策

病気ではないけれど体調がよくない……という経験をされたことはありませんか？
心当たりがあるなら、それは「未病(みびょう)」かもしれません。
ここでは未病について解説するとともに、気になる症状と改善方法もまとめました。

日本未病学会が定める未病の定義は2点

①検査しても異常は見つからないが、なんらかの自覚症状がある

風邪を引いたときを思い返してみてください。なんの前触れもなく発熱や咳、くしゃみなどの症状が出る前、そういえば、「ちょっと調子が悪いな……」という状態が続いていたなど感じる事が多くないですか？未病とは、この「調子が悪い」と感じている状態をさします。

②自覚症状はないが、検査結果には異常がある

健康診断を受けたところ、特に自覚する症状はないのに数値に異常が見つかってしまった……。これも未病に該当する状態です。未病の症状は多岐にわたりますが、以下のようなものがあてはまります。

- 倦怠感、だるさ
- 体が冷える
- 疲れやすい
- 眠れない、眠りが浅い
- 頭痛
- 肩こり
- めまい……など

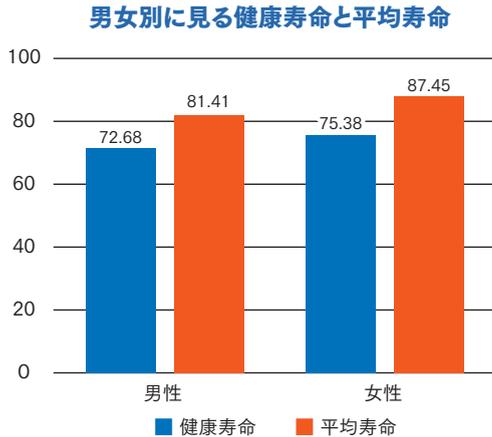


未病の段階で体の不調に気づき、病気になる前になんらかの対策を講ずることは

健康寿命を延ばすためにも重要です。

健康寿命ってなに？平均寿命との違いも解説

健康寿命とは「健康に日常生活を送れる期間」です。以下は、2019年の男女の健康寿命と平均寿命をグラフ化したものになります。



※出典：健康寿命 厚生労働省「令和元年簡易生命表の概況」
平均寿命 厚生労働省「健康寿命の令和元年値について」

平均寿命から健康寿命を引いた数は「病気などにより制限がある状態で日常生活を送る期間」です。このグラフから読み解けるのは、平均で男性なら約8年強、女性は12年、体になんらかの不具合を感じながら余生を過ごすということ。

「健康で長生きしたい」とは誰しも願うことではないでしょうか。元気に日々を過ごすためにも病気にはなりたくないものです。

今日から実践！健康に歳を重ねるための未病ケア

食生活の見直し

食事は毎日決まった時間に規則正しくとり、食べる量は腹八分目。塩分の多い食事は高血圧や動脈硬化などさまざまな症状の原因になるといわれるため、なるべく控えましょう。

適度な運動

運動は心身の健康維持に欠かせません。厚生労働省では、健康づくりに役立つ運動量の目安として「歩行またはそれと同等以上の強度の身体活動を1日60分以上行うこと」を推奨しています。毎朝少し早く起きて散歩をする、いつも車で行く場所へ徒歩で行くなど、いつもの行動を少し変えながら運動を習慣にしましょう。

禁煙・節酒

たばこは発がん性物質を多く含み、百害あって一利なし。また、過度の飲酒も健康を損ねる原因になるため、お酒の量はほどほどにしましょう。

未病の状態が長引くと、人はそれを当たり前と思ってしまうもの。「なんとなく具合が悪いけれどいつものことだから」と放置すると、あとから思わぬ病気が見つかることがあります。

「健康で長生き」を実現したいなら
まずは生活習慣の見直しを！

未病の段階でケアに努め、
病気知らずの体を
目指しましょう！



Helloご近所ドクター

P.40 口腔ケアから全身の健康を守る
医療法人育歩会 坂井歯科医院
坂井 宏成 先生

P.41 全身管理を含めて健康を守る
医療法人育歩会 坂井歯科医院 香里園かほりまち歯科
坂井 秀明 先生



坂井 宏成先生

口腔ケアから全身の健康を守る

「健康は口からはじまる」という思いから、治療はもちろんのこと、予防歯科に力を入れている坂井歯科医院。少しでも患者さんが通いやすいように、治療用のスペースとメンテナンスルームを完全に分けていて、治療時に発生するドリルなどの嫌な音を聞くことなく、安心してケアが受けられるようになっている。「健康寿命を長く保つためには定期的なお口のケアが大切です。そのため、今健康な人も油断をせずにご来院いただき、坂井歯科という場所より健康になっていただきたい」という思いで医院づくりを行っています」と、坂井先生は語る。また、治療が終わった後、食生活を改善できずに虫歯や歯周病にかかってしまうことは珍しくない。それを防ぐため、管理栄養士による患者さんの口腔状態に合わせた食生活の指導も行って、坂井先生の『患者さんを虫歯にさせない』という思いが伝わってくる。

予防歯科に注力し 様々な取組みを行う

2026年度内に 診療スペースを拡張

「健康は口からはじまる」という思いから、治療はもちろんのこと、予防歯科に力を入れている坂井歯科医院。少しでも患者さんが通いやすいように、治療用のスペースとメンテナンスルームを完全に分けていて、治療時に発生するドリルなどの嫌な音を聞くことなく、安心してケアが受けられるようになっている。「健康寿命を長く保つためには定期的なお口のケアが大切です。そのため、今健康な人も油断をせずにご来院いただき、坂井歯科という場所より健康になっていただきたい」という思いで医院づくりを行っています」と、坂井先生は語る。また、治療が終わった後、食生活を改善できずに虫歯や歯周病にかかってしまうことは珍しくない。それを防ぐため、管理栄養士による患者さんの口腔状態に合わせた食生活の指導も行って、坂井先生の『患者さんを虫歯にさせない』という思いが伝わってくる。

同院は患者担当制を採用していて、同じ歯科衛生士にケアをしてもらえ、という安心感から、予防に通う人が増え続けている。ニーズに応えるため、同院では2026年度中に診療スペースを拡張することを決定した。「有難いことに当院で働きたいという歯科衛生士さんも増えていて、より多くの人にケアを受けていただけるよう診療台を増設することにいたしました。皆様の期待に応えられるように、誠心誠意診療を行いたいと思います」と、坂井先生は意気込みを語ってくれた。

教えて先生!

矯正にはどれくらいの治療期間がかかるのでしょうか?

かつては数年かけて矯正することが一般的でした。しかし、マウスピース型の矯正装置を用いて前の方だけを整えるようなケースであれば、3か月から半年で矯正できることもあるため、まずはご相談いただければと思います

PROFILE

坂井 宏成 先生

【プロフィール】A型 / 蟹座 / 松本歯科大学卒 / 枚方市出身 / 日本口腔インプラント学会・日本歯科審美学会・アンチエイジング学会会員

【趣味】家族と過ごす時間が一番の癒やしです。5歳と8歳の娘がいて、その成長を見るのが生きがいになっています

【休日の過ごし方】昨年11月くらいに沖縄のジャングルアに行きました。たまたま空いている時に行くことができましたので、子供と一緒に色々なアクティビティを楽しむことができました。あとは、大阪湾で釣りをして釣った魚を食べるなど、休みが取れた時は家族と過ごすことが多かったですね



1.管理栄養士主催の「クリスマスお料理イベント」の様子。身体に良いキッシュやスコーンづくりが行われた。2.全身の健康管理の一貫として、血行促進や肩こり解消などを目的としたヨガ教室も開催している

PROFILE

坂井 秀明 先生

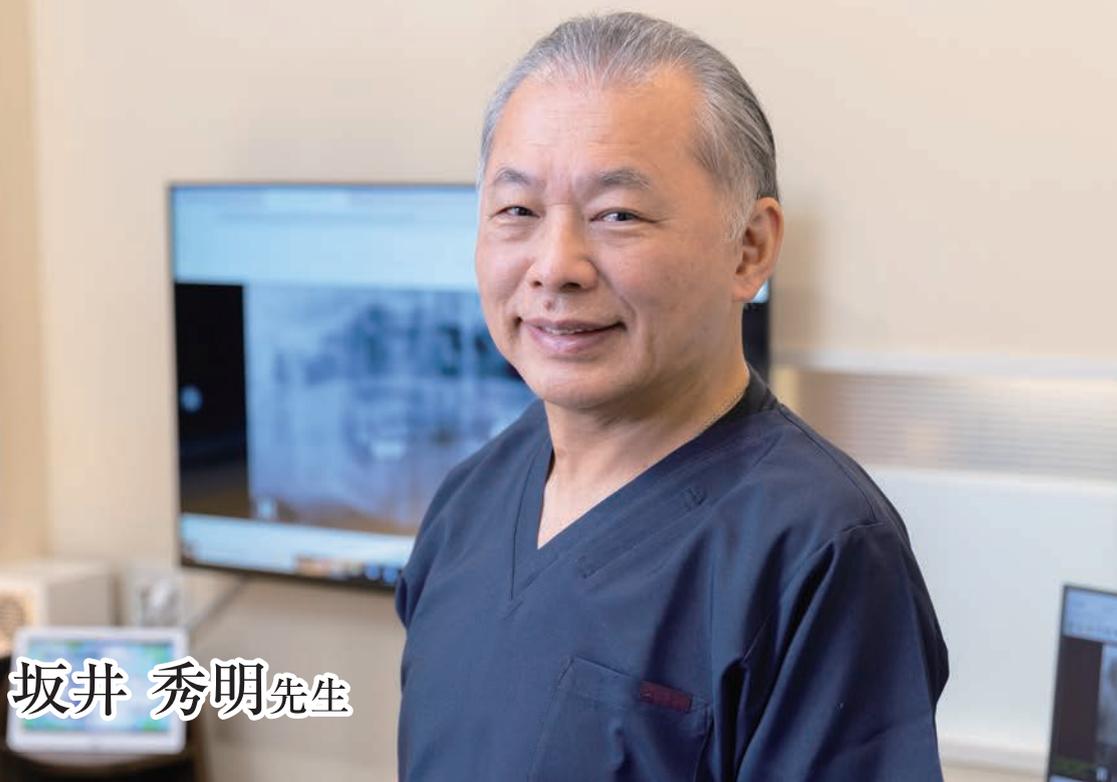
【プロフィール】A型 / 山羊座 / 福岡歯科大学卒 / 福岡県久留米市出身 / 全国歯科インプラント連盟認定医、日本口腔インプラント学会会員、アンチエイジング学会会員、日本歯科先端技術研究所会員

【趣味】二足歩行ロボットが好きで、その関連のYouTube番組をよく見えています。今も当院には人型ロボットのペッパーくんがいますが、技術が発展したら新しく取入れたいと考えています

【休日の過ごし方】娘家族がキャンプが好きで、私も同行することが多くなったのでキャンピングカーを買いました。買ってからまだキャンプに行けてないのですが、暖かくなったら琵琶湖一周をしたいと計画を立てています



1. ブルーバイオラジカルの治療装置、外科的な処置が必要ないためほとんど痛みを伴わない 2. 食事の指導を行う際には体成分分析装置によって身体のバランスを評価し、患者さんに合った生活改善を提案する



坂井 秀明先生

全身管理を含めて健康を守る

長期的に健康を維持するためには、バランスの良い食生活を送ることが大切だが、歯を失ってしまうと、柔らかい食べ物を優先したり、エネルギーを素早く吸収できる炭水化物に偏ったりと、食事への悪影響が大きい。こうした食習慣はインプラントなどで治療を行ったとしてもすぐに変えることは難しい。「歯が治って食事ができるようになることは良いことなのですが、食生活を改善できないことで太ってしまわれる方もいて、複雑な気持ちになることがあります。歯の健康も、全身の健康も、長く保つためにはバランスよく食べて運動することが大切です。そのため当院では未永く健康でいていただけるように、管理栄養士やヨガのインストラクターによる栄養指導や運動指導を行っています」と、坂井先生は語る。治療が終わった後も患者さんの健康を願いつける熱意はスタッフ全員に共有されていて、気持ちよく通院することができる。

長期的に健康を維持するため 食事・運動指導を実施

最新鋭の歯周病治療 「ブルーバイオラジカル」

歯が失われる原因として常に上位に位置するのが歯周病である。香里園かほりまち歯科では歯周病の治療に力を入れていて、新しく「ブルーバイオラジカル」という治療を導入した。「レーザー光により歯周病菌を除去するという治療で、治療時の痛みはほとんどありません。治りづらくなる中等度の歯周病にも良い影響があり、インプラント歯周炎に対しても効果が期待できます」。この治療には麻酔も不要なため、治療時の痛みが気になる方は相談してみてください。

教えて先生!

インプラントは長く使用できるものなんでしょうか?

インプラントの寿命は使用環境によって左右され、全身の健康状態によっても変化するため断定ができません。寿命を縮める要因にインプラント歯周炎があり、適切な口腔ケアを続けて予防すれば長持ちする可能性が高くなります

内・外・整外・消外・放・消内・肛外・循環器外科・皮・リハ・乳腺外科

医療法人 昭征会
坂野病院
☎072-848-2000
http://www.sakano.or.jp/

ドクターNET掲載



所在地 枚方市中宮本町4-5
交通 京阪バス「関西外大前または中宮住宅前」下車徒歩2分
院長 今木正文(経歴:大阪医科薬科大学卒、県立西宮病院救急救命センター・市立ひらかた病院勤務)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	-



今木正文先生
A型 / 牡羊座

地域社会に根付いた医療を目指し乳癌の早期発見に尽力



医療・介護サービスを提供しています。お気軽にご相談いただければと思います。

医療 在宅医療・健康診断等、地域社会に根付いた医療の実践を目指しています。諸種の検診、特に乳癌では、マンモグラフィ・超音波検査を駆使し、早期発見に力を入れています。

Doctor Guide

住所や診察時間など
基本情報の詳細は
こちらからcheck!



マイドクターぱど

ご近所ドクターBOOKで紹介された先生方のインタビューがスマホ・PCでも読めます。



急性期医療の機能を集中させた本館(左)と、地域包括ケア病棟や介護医療院がある西館(右)

内・呼内・循内・消内・血内・糖内・腎内・神内・外・呼外・消外・乳外・肛外・整外・器外・形外・産外・内視鏡外・アレ・リウ・小・皮・泌・眼・耳・リハ・放診・放治・救・泌(男性不妊治療)・麻(器岡崎)

インタビューページあり

社会医療法人 美杉会 佐藤病院

マイドクターぱど掲載

ドクターNET掲載

☎072-850-8711

美杉会 佐藤病院

検索



所在地 枚方市養父東町65-1

交通 京阪バス「樟葉駅」から39番枚方市駅北口行き、88番田ノ口団地行き、96番総合スポーツセンター行き乗車、「葦ヶ丘」下車、徒歩3分。または97番藤阪ハイツ行き乗車、「枚野高校前」下車、徒歩1分
院長 河合泰博(経歴:京都大学医学部卒、北野病院勤務、大阪府病院協会理事)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	-
17:30~19:30	○	○	○	○	○	○	○	-

*受付時間 *救急診療は24時間受け付けています



河合泰博先生
A型 / 水瓶座

急性期の診療に幅広く対応し地域包括ケアにも注力



幅広い対応ができるよう 当法人の男山病院と連携

京都府八幡市にある男山病院と相互に連携することで、より広域の患者さんに検査や治療を受けていただけるよう配慮しています



医療機関との紹介窓口である地域医療連携室。親身な対応を心がけており、複雑な医療制度に対する医療福祉相談も行っています。

北河内エリアの急性期病院として外来、入院手術、各種検査、人工透析、リハビリテーションなど幅広い診療を実施。大阪府指定二次救急医療機関でもあり、24時間365日救急の受け入れを行っています。大阪府がん診療拠点病院に指定されていて、様々な分野のがんに対し、手術・薬物療法・放射線治療を提供することが可能です。また、長期にわたって療養が必要な要介護認定の方で、在宅での療養が困難な方に対応できるように、医療機能と生活施設としての機能を併せ持つ「介護医療院」の開設も行いました。お困りの方はご相談いただけます。



最寄駅から徒歩圏内で、夕方診療も実施。
ご利用いただきやすい病院を目指します

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・外科・整形外科・
脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・放射線科・リハビリテーション科

インタビューページあり

マイドクターばど掲載

関西医科大学くずは病院

☎072-809-0005



関西医科大学 くずは

所在地 枚方市楠葉花園町4-1
交通 京阪本線「樟葉駅」から徒歩7分
院長 高山康夫(関西医科大学医学部卒)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	—	—
17:00~19:00	○	○	○	○	○	—	—	—



高山康夫先生
B型 / 獅子座

※上記は診療受付時間です
※年末年始(12月29日~1月3日)は休診します



無料シャトルバスを運行 夕診にも対応しています

樟葉駅からくずは病院正面玄関まで、約10分間隔でシャトルバスを運行。詳細はHPのアクセス欄をご確認ください

回復期医療に注力し、皆様の健康寿命延伸に努めます



早期の社会生活復帰を目指し、リハビリテーションに注力。専門医師、各療法士がチーム体制で皆様をお支えます

当院は地域包括医療病棟、回復期リハビリテーション病棟を擁する、地域密着型の病院です。急性期の治療を終えた患者さんが1日でも早く住み慣れた場所にお戻りいただけるように、関西医科大学附属3病院との連携を深めつつ、充実した回復期医療の提供に努めています。特に皆様の健康長寿を少しでも伸ばせるように、整形外科やリハビリテーション科の診療に力を入れており、医療分野にとどまらず、デイケアや訪問リハビリといった予防介護事業も行っています。夕方診療も行っていますので、お勤め帰りや学校帰りにご利用いただけます。



総合病院として幅広い診療科をカバーし、
地域住民の健康を支え続ける

内・消内・脳内・循内・精・外・整外・消外・肛・泌・皮・アレ・
リウ・放・リハ

インタビューページあり

医療法人 御殿山 福田総合病院

☎072-847-5752

マイドクターばど掲載



福田総合病院

所在地 枚方市渚西1-18-11
交通 京阪本線「御殿山駅」から徒歩約2分
院長 福田正剛(経歴:2016年福田総合病院整形外科、2020年より現職)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—	—
17:30~19:30	○	—	○	—	○	—	—	—



福田正剛理事長
A型 / 水瓶座



医療と地域が交わる コミュニティスペースが誕生

地域向けイベントやワークショップの開催を通じて医療と地域をつなぐ、コミュニティスペース「GOZEN(ゴゼン)」を2025年にオープン

「真心と奉仕の精神をモットーに」の理念で開院50年



リハビリ施設「Motto(モットー)」を運営。転倒予防や日常動作改善など、充実のシニア向け運動プログラムを提供しています

1975年に福田医院を開業して以来、「真心と奉仕の精神をモットーに」を理念に掲げて、現在は総合病院として整形外科・循環器内科・皮膚科など幅広い診療科目をカバー。地域医療の充実のために、病院での医療的ケアのほか、介護・福祉関連の事業所なども展開。さらには地域交流の場として2025年11月にはコミュニティスペース「GOZEN(ゴゼン)」を病院前にオープンしました。今後も医療施設の枠を越えて、多職種協働による地域の支援体制の構築に取組み、地域の皆様の健康と暮らしを支えます。



“人対人”として心のふれあいを重視した医療の提供に努めています

外科・循環内・整外・泌・血外・内・呼内・消内・消外・脳神外・腎内(人工透析)・肛外・外(肝・胆・腹)・リハ・放・麻(吉田和正)

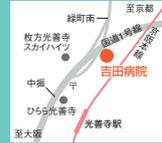
医療法人 毅峰会 吉田病院

☎072-833-1831
https://yoshida-hosp.or.jp

所在地 枚方市北中振3-8-14
交通 京阪本線「光善寺駅」から北へ徒歩5分
院長 吉田和正(経歴:関西医科大学卒、医学博士)

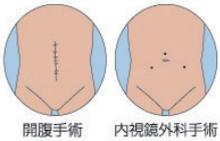
	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—	—
18:00~20:00	○	○	○	○	○	○	—	—

※24時間救急診療



吉田和正先生
A型 / 牡牛座

心のかよった真心医療で地域に貢献いたします



従来の開腹手術に比べて負担が少ない腹腔鏡下手術

腹部に開けた小さな穴から内視鏡を入れ、TVモニターを見ながら病変部を確認し手術を行います。傷口は3~10mm程度と、開腹手術に比べて小さく、入院期間の短縮や早期の社会復帰につながります



日本消化器外科学会指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、四段階注射法認定医の永原央先生

当院は「患者と医者」ではなく「人と人」としての触れ合いを大切にしたい安心できる医療の提供に取り組んでいます。外科では大腸がんをはじめとする消化器疾患に対して開腹手術よりも術後が良好な腹腔鏡による手術を導入しています。泌尿器科では前立腺肥大症に対し従来よりも痛みの少ないレーザー治療を導入しています。透析は院内での透析医療センターにおける治療だけでなく医師の教育関連施設でもあります。循環器内科では地域の医療機関からの救急要請に対しスムーズにカテーテル手術に移行できるように体制を整えています。



京阪本線「香里園駅」からデッキ直結。雨の日も屋根の下をとお越しいただけます

内・小・外・乳外・整外・形成・皮・泌外・眼・耳・婦・リハ・麻(上村幸子)・放

インタビューページあり

マイドクターばど掲載

関西医科大学香里病院

☎072-832-5321
https://hp.kmu.ac.jp/kori/



所在地 寝屋川市香里本通町8-45
交通 京阪本線「香里園駅」から徒歩約1分
院長 岡崎和一(日本臓器学会名誉理事長、アジア太平洋消化器病学会理事、厚生労働省難病班(肝疾患、炎症性腸疾患、IgG4関連疾患))

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	—	—
17:00~19:00	○	○	○	○	○	○	—	—

※第2・4土曜日は休診 ☆年末年始(12月29日~1月3日)は休診 ☆17:00~の夕診は、診療科によって実施日が異なります



岡崎和一先生

地域住民に信頼される病院を目指して診療体制を構築



地域の皆様の健康を支援する予防医療センターを開設

地域医療連携部に隣接する「予防医療センター」では、自由診療で人間ドックやがん検診を受け付けています。人間ドックは完全予約制です



2F正面玄関付近にある地域医療連携部。他院との連携に関する業務を行うほか、紹介患者さんの予約受付や医療相談も承っています

当院は大学病院として若手医師の育成や、高度な医療を提供する役割を担う一方で、北河内地域の住民を支える市民病院としての役割も両立させ、地域に貢献することを目指しています。そのため当院は、紹介状のない初診の患者さんへの選定療養費を廃止し、誰もが利用しやすくなることを目的として、一部の診療科で夕方診療に対応しています。また、当院は関西医科大学附属の4病院の1つとして、ほかの3院と電子カルテで情報を共有しており、当院だけで対応が難しい場合などに速やかに連携して、診療を受けていただくことが可能です。



より快適な環境で治療を受けていただけるよう、2022年9月に近隣のビルから移転を行いました

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

インタビューページあり

医療法人育歩会 坂井歯科医院

☎0120-366-480

坂井歯科医院

検索

マイドクターばど掲載



所在地 寝屋川市香里南之町14-9 彩テラス2F
交通 京阪本線「香里園駅」から徒歩1分
院長 坂井宏成(経歴:松本歯科大学卒)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~18:00	○	○	○	○	○	○	○	—
18:00~21:00	○	○	○	○	○	○	○	—

※最終受付は月~水・金が20:20、木土が17:00



坂井宏成院長
A型 / 蟹座



通院できない方のため 訪問歯科診療を実施

ご年配の方やお身体が不自由な方に向けた訪問歯科診療を行っています。お口のクリーニングや入れ歯の調整・新調などに対応し、ご自宅や施設に訪問します

全身の健康を守るため予防歯科に注力



グループの医院も合わせて、約90名のスタッフが勤務。スタッフ同士力を合わせ、患者様のお口の健康を守っていきます

当院は予防歯科に注力しており、不安なくご来院いただけるように、治療を行う部屋とケアを行う部屋を分けて設計しています。部屋を分けることで治療で用いるドリルなどの音を聞かずに、日々のケアを受けていただくことが可能です。また、毎回同じ歯科衛生士がケアを行う患者担当制を採用していて、細かなご要望にも対応できる環境を整えています。そして、歯の健康を守るためには食生活にも配慮をする必要があります。当院では管理栄養士による食事指導も行っています。これからも地域の皆様の健康を守るため、様々な角度からサポートをしていく所存です。



患者様にケアを受け続けていただけるよう、スタッフ一同熱意のある対応を心がけています

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

インタビューページあり

医療法人育歩会 坂井歯科医院 香里園かほりまち歯科

☎072-832-6480(総合受付)

香里園かほりまち歯科

検索

マイドクターばど掲載



所在地 寝屋川市香里本通町8-4 かほりまちテラス1F
交通 京阪本線「香里園駅」から徒歩1分
院長 坂井秀明(経歴:福岡歯科大学卒、昭和57年坂井歯科医院開業)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~18:00	○	○	○	○	○	○	○	—
18:00~21:00	○	○	○	○	○	○	○	—

※最終受付は月~水・金が20:00、木が17:00、土が16:40
※木土の12:00~13:00は休診



坂井秀明院長
A型 / 山羊座



麻酔が苦手な方のため 痛みを配慮した麻酔を導入

麻酔針を注入する速度や圧力をコンピュータで調節する電動麻酔器を使用しています。表面麻酔も併用し、痛みを抑える工夫を行っています

生活習慣の改善を含めた口腔ケアを提案



患者担当制を採用し、常に同じ歯科衛生士がケアを行います。気になることがあれば患者様の健康を支える歯科であることができればと思います。

口腔内の治療はもちろんのこと、全身の健康に配慮し、生活習慣を整える総合的なサポートを行うことに注力。管理栄養士による栄養指導や、インストラクターによるヨガレッスンをを行うことで、患者様の健康を応援しています。また、患者様にとって負担の少ない診療を心がけていて、正確さや時間短縮ができるように3Dスキャナーや診療アプリを導入しています。これからも一般歯科や予防歯科、インプラント治療などを通じて、子供から大人まで年齢を問わず、末永く患者様の健康を支える歯科であることができればと思います。



理念に基づき「地域に信頼され、地域に必要とされる」病院を目指します

内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・泌尿器科(人工透析)・皮膚科・血管外科・リハビリテーション科・放射線科

医療法人 毅峰会 青樹会病院

☎072-833-8810

青樹会病院

検索

所在地 寝屋川市緑町47-7

交通 京阪本線「香里園駅」から徒歩約20分、同駅と京阪本線「寝屋川市駅」から送迎バスあり
院長 田嶋健一郎医師(経歴:関西医科大学卒、北野病院免疫血液内科副部長、関西医科大学附属枚方病院血液腫瘍内科講師)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	○	○
13:30~15:30	○	○	○	○	○	○	○	○
18:00~20:00	○	○	○	○	○	○	○	○

※24時間救急診療



田嶋健一郎院長
A型 / 水瓶座



充実した内視鏡部門を設置 高度な内視鏡診断・治療を行う

内視鏡検査では高画質のカメラや細いスコープを用いて患部を直接観察します。胃は月から土の午前、大腸は火・水・木の午後で検査に対応しています

「患者対医療人」ではなく「人対人」として「心のふれあい」を大切にした医療を目指す



「石津・京阪本線香里園駅行き」「成田山・三井田地方行き」「京阪本線寝屋川市駅行き」の無料送迎バスを運行

青樹会病院は1982年6月に寝屋川市緑町で内科病院として開設して以来「人対人の心がふれあう医療」を掲げ、35年に渡って地域医療を担う中核病院を目指してきました。2017年10月には法人合併により「医療法人毅峰会 青樹会病院」から「医療法人毅峰会 青樹会病院」として新しくスタート。生活習慣病の予防健診から企業健診、人間ドックまで様々な種類の検査が当院で受診できます。特に注力する企業健診では、病院内または出張での受診に対応しています。地域の方々にとって「敷居が低く通いやすい病院」を目指して無料送迎バスも充実させています。患者様およびそのご家族の方へ介護施設ご利用の方が対象となります。



四季折々の草花が見られるホスヒタルガーデン。モネの絵画「睡蓮」をイメージした池もあります

内・外・精・小・皮・産・眼・泌・耳・放・脳内・整外・形外・脳外・心外・呼外・血外・乳外 他

インタビューページあり

関西医科大学 総合医療センター

☎06-6992-1001

<https://hp.kmu.ac.jp/takii/>

マイドクターばど掲載



所在地 守口市文圃町10-15

交通 京阪本線「滝井駅」から徒歩2分 大阪メトロ谷町線・今里筋線「太子橋今市」駅から徒歩6分
院長 杉山隆(経歴:関西医科大学医学部卒、愛媛大学医学部名誉教授・同附属病院前院長、産婦人科専門医・指導医、内分泌代謝科専門医・指導医 等)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 第2、第4土曜日休診



杉山隆先生



在宅看護に対応する 訪問看護ステーション

当院は在宅医療の需要にお応えするため、「関医訪問看護ステーション・滝井」を併設。在宅看護やリハビリ治療を幅広く提供しています

先端医療の提供と地域完結型医療の両立を目指す大学病院



手術支援ロボット「ダヴィンチXi」。大きな切開をせず小さな傷口で手術が行え、早期の退院や社会復帰が期待できます

当院は多種多様な医療スタッフが各々の専門性を生かし、情報を共有しつつ業務を分担・連携して効率的な医療を提供する「チーム医療」を元に病院運営を行っています。また、大阪府から地域医療支援病院の承認を受けており、患者さんへ「地域完結型医療」を提供するべく、近隣の医療機関と密に連携し、また介護福祉部門(訪問看護ステーション等)を設置する等、より「一層、地域における基幹病院として貢献できる」よう努めています。今後も「大切な人を受診させたい病院へ」というテーマを掲げ、全人的な医療の提供に尽力します。

内科、眼科、皮膚科
人間ドック相談、生活習慣病健診相談、各種健診相談

関西医科大学天満橋総合クリニック

☎06-6943-2260

関西医科大学 天満橋

検索

所在地 大阪市中央区大手前1丁目7番31号 OMMビル3階
交通 京阪本線・大阪メトロ谷町線「天満橋駅」直結OMMビル3階
院長 大宮美香(経歴:関西医科大学医学部卒)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
※1 9:00~16:00	○	○	○	○	○	○	○	○
※2 9:30~12:30 14:00~16:00	○	○	○	○	○	○	○	○
※3 14:00~16:00	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 内科 ※2 眼科 ※3 皮膚科



大宮 美香先生
O型 / 蟹座

プライマリーケアから専門的な治療まで



恵まれた立地条件をいかして通院しやすいクリニックになることを目指しています。

内科は循環器、糖尿病内分泌、甲状腺、消化器、肝臓など幅広い分野に対応し、お昼休みも受診可能です。眼科、皮膚科でも各専門医が様々な疾患の診察を行っています。より専門的な検査や治療が必要な時には、関西医科大学の各附属医療機関と連携。総合健診センターも併設しており、各種健診にも対応しています。

血内・リウ・糖内・脳内・呼内・消内・循内・腎内・小・救・消外・乳外・整外・形外・脳外・心外・呼外・皮・泌・産・婦・眼・耳 ほか

インタビューページあり

社会福祉法人 恩賜財団

大阪府済生会野江病院

☎06-6932-0401

済生会野江病院

検索

マイドクターばど掲載



所在地 大阪市城東区古市1-3-25
交通 地下鉄長堀鶴見緑地線「今福鶴見駅」から徒歩12分
院長 福田和彦(経歴:京都大学医学部卒、医学博士、日本麻酔科学会指導医、京都大学名誉教授)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~11:15	○	○	○	○	○	○	○	○

※午後診は必ず事前にお問い合わせください
※外来診察日と初診受付時間は診療科によって異なります
※そのほかの休診:5月3日~5日、12月30日~1月3日



福田和彦先生
O型 / 魚座

地域のニーズに応え、祝日も診療



400床の中核病院として年間約5000台の救急車を受け入れ、質の高い専門的医療の提供による地域への貢献に努めています

「患者さん本位の心温まる全人的医療をめざす」を理念に、地域の皆さまのニーズに沿った柔軟な医療を提供できるよう努めています。広く患者さんを受け入れられるよう、年末年始・GW・土日を除き全ての祝日で診療を行っています。

困った時の 夜間&休日の救急連絡先

地元の休日・夜間・救急病院(診療所)

寝屋川市立保健福祉センター診療所	寝屋川市池田西町28-22 ☎072-828-3931	診療科目 内科、小児科、歯科 (ともに日・祝12/30~1/4) 受付時間 小児科 9:30~11:30、12:30~16:30、17:30~20:30、 内科、歯科 9:30~11:30、12:30~16:30
枚方市休日急病診療所 (枚方市医師会館内)	枚方市禁野本町2-14-16 ☎072-845-2656	診療科目 内科、小児科 受付時間 土曜 17:40~20:30 日・祝・年末年始 9:40~11:30、12:40~16:30
枚方市休日歯科急病診療所 (枚方市保健センター内)	枚方市禁野本町2-13-13 ☎072-848-0841	診療科目 歯科 (日・祝・12/29~1/3) 受付時間 9:30~11:30、13:00~16:30
交野市立健康増進センター	交野市天野が原町5-5-1 ☎072-891-8124	診療科目 内科、小児科、歯科 (ともに日・祝・年末年始) 受付時間 内科、小児科 9:45~13:45 歯科9:45~11:45
交野市土曜・休日夜間急病センター (交野病院内)	交野市松原39-1 ☎072-891-0331	診療科目 内科(土・日・祝、年末年始は除く、15歳以上) 診療時間 18:00~21:00
四條畷市立保健センター休日診療所	四條畷市中野3-5-28 ☎072-877-1259	診療科目 小児科 (日・祝・12/30~1/3、16歳未満) 診療時間 9:30~11:30、13:00~15:30
北河内夜間救急センター (市立保健センター内)	枚方市禁野本町2-13-13 ☎072-840-7555	診療科目 小児科(中学3年生まで) 受付時間 20:30~翌5:30
守口市内科・小児科 休日応急診療所(市民保健センター内)	守口市大宮通1-13-7 ☎06-6998-9970	診療科目 内科、小児科 受付時間 土曜 8:00~20:30、 日・祝・年末年始10:00~12:00、13:30~16:30、18:00~20:30(日・祝のみ)
守口市歯科 休日応急診療所 (市民保健センター内)	守口市大宮通1-13-7 ☎06-6998-9945	診療科目 歯科 (日・祝・8/15・12/30~1/3のみ) 受付時間 10:00~11:30、13:00~16:30
門真市 保健福祉センター診療所	門真市御堂町14-1 ☎06-6903-3000	診療科目 内科、小児科、歯科 診療時間 内科、小児科: 土曜18:00~20:30、 日・祝・年末年始 10:00~11:30、13:00~16:00 歯科: 日・祝 13:00~16:00 年末年始 10:00~11:30、13:00~16:00
都島休日急病診療所	都島区都島南通1-24-23 ☎06-6928-3333	診療科目 内科、小児科 (日・祝・12/30~1/4) 診療時間 10:00~16:30

WEBで調べる

医療情報ネット

検索

<https://www.iryu.taikyouseido.mhlw.go.jp/zkn-web/juminkanja/S2310/initialize?pref=27>
ご近所の病院、休日・夜間急病診療所、救急病院等が検索できます

こどもの救急

検索

<http://kodomo-qq.jp/>

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうかが、判断の目安を提供しています。

大阪府 小児救急について

検索

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryu/syouuni-qq/>
小児救急医療のかかり方、日頃の心得等が紹介されています

病院に行く前にチェック!

- 準備するもの
 - 健康保険証
 - 母子健康手帳
 - お金
 - 着替え
- 気をつけること
 - 家を出る前に火元を確認!
 - 戸締まりを忘れずに!
 - 交通事故に気をつけましょう!
- お医者さんに伝えること
 - 症状は「いつから、どの位つづいている?」
 - 薬を飲ませた場合、その薬の種類

※急病診療はあくまで緊急事態に備えるためのもので、限られた医療スタッフで運営されています。病状に応じて、適切な医療機関を利用するよう努め、検査などを含めた医療体制が整っている通常の診療時間内になるべく受診しましょう。

ダイヤルインフォメーション

適切な医療機関がわからないとき 救急車を呼ぶ程ではない場合で適切な医療機関がわからない場合に診療可能な医療機関を問い合わせる電話番号です。
子どもの急病時、病院に行くか判断に迷ったとき 夜間の子どもの急病時、病院へ行ったほうがよいかどうか、判断に迷った時にご利用ください。

大阪府救急医療情報センター ☎06-6693-1199

*24時間、365日対応

小児救急電話相談

*20:00~翌8:00

#8000 *NTTのフッシュ回線、及び携帯電話
☎06-6765-3650

ご近所ドクター
BOOK 2026
京阪・大阪市北東版

2026年3月27日発行

編集・発行／株式会社関西ぱど 北大阪営業部

〒572-0048 寝屋川市大利町10-10 小林ビル1F

TEL 072-827-0810